

# EZ One Shot®

## バーコードスキャナ ユーザマニュアル





## 警告

本ワンドを接続する前に、ホストコンピュータの電源を落としてください。ワンドとホストに深刻なダメージを与えないために重要です。

### 米国連邦通信委員会インターフェースステートメント

本装置は、FCC Part 15 Class B デジタル装置の規格に準拠しています。本規制は、居住施設への設置にあたり、有害な干渉から合理的な保護を行うためのものです。

本装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射し、本取り扱い説明書に従って設置しない場合、無線通信に有害な干渉を生じる恐れがあります。しかしながら、特定の環境で干渉が起こらない保証もするものではありません。本装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じていることが、装置のオンオフにより確認された場合、以下の方法で干渉を修正してみてください。

受信アンテナの向きや位置を変える

- 本装置と受信機を離す
- 本装置を、受信機とは別のコンセントに挿す
- 販売店や、ラジオ / テレビの技術者に相談する

**FCC 警告：**コンプライアンスを継続するために、コンプライアンス承認権限を持つ主体による明示的な承認がない限り、いかなる変更や修正も、ユーザが本装置を操作する権限を無効にする場合があります。(例 - コンピュータや周辺装置に接続する際は、シールドされたインターフェースケーブルのみを使用すること)

### FCC Radiation Exposure Statement

本装置は、制限のない環境下での、FCC RF 放射量受容制限に合致しています。本装置は、最短 20cm 人体から離れた状態で設置または使用してください。

本トランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと連結して使用しないでください。

本トランスミッターのアンテナは、最短 20cm 人体から離して設置し、他のアンテナやトランスミッターと連結して使用しないでください。

本装置は、FCC Rule の Part 15 に適合しています。操作は、以下の条件で行います。

(1) 本装置は有害な干渉を生じません。(2) 本装置は予期しない動作を引き起こす恐れのある干渉を含むすべての干渉を受容します。

# 目次

## 全般

目次 .....	1
はじめに、簡単なトラブルシューティング .....	2-3
クローニングモード .....	4-5

## はじめに

スキャナとターミナルの接続 .....	6-9
ケーブルの変更 .....	9
パラメータの設定 .....	10

## 設定グループ (グループ 1 ~ 14)

1. インターフェース選択、コンピュータタイプ、デフォルト、スキャン速度 .....	11
2. 読取モード .....	12
3. チェックバージョン、ピープ音、ターミネータ .....	13
4. プリアンプル、ポストアンプル .....	14
5. 正確性調整 .....	15
6. Code ID のイネーブルとディセーブル、ラベルタイプ Positive/Negative .....	16
7. シンボロジーコード識別子 .....	17
8 ~ 9. Code ID の設定、カスタマー設定 .....	18-19
10. ブロックとキャラクタ間のディレイ .....	20
11. キーボードレイアウト、Caplock モード、数字キー .....	21
12. RS232: Baud rate, Data bits, Parity .....	22
13. RS232: Stop bit, Handshaking, ACK/NAK, Flow Control, BCC .....	23
14. ワンドエミュレーション、パラメータ設定 .....	24

## シンボロジーのフォーマット (グループ 15 ~ 33)

15. バーコードシンボロジーのイネーブル .....	26
16. バーコードシンボロジーのディセーブル .....	27
17. China postcode(Toshiba code) .....	28
18. MSI code, UK Plessey code .....	30
19. Code93, Telepen, IATA .....	32
20. Interleaved 2 of 5, Code 11 .....	34
21. Industrial 2 of 5, Matrix 2 of 5 .....	36
22. Codabar .....	38
23. ABC Codabar, CX-Codabar .....	40
24. Codabar Coupling .....	41
25. Code 39 (フル ASCII / 標準), Code 32 .....	42
26. UPC-E(0)&(1), UPC-E 拡張 .....	44
27. UPC-E .....	45
28. UPC-A .....	46
29. EAN-8 .....	47
30. EAN-13, ISSN, ISBN, ISMN .....	48
31. EAN/UCC 128, CODE 128, PDF417 .....	49
32. DataBar(RSS) 限定、拡張 .....	51-52
33. ワイヤレスモデル .....	53-57

## フル ASCII (CODE 39) 表、ファンクションキー表 (グループ 34 ~ 48)

34 ~ 42. フル ASCII (CODE 39) 表 .....	58-66
43 ~ 45. PC-AT 用ファンクションコード表 (CODE 39) .....	67-69
46 ~ 48. トラブルシューティング .....	70-72

## APPENDIX

APPENDIX 1 デフォルト表 .....	73-75
APPENDIX 2 ケーブルピンアサインメント .....	76-77
APPENDIX 3 バーコードテストチャート .....	78-79
APPENDIX 4 PDF-417 デモチャート .....	80-87
APPENDIX 5 レーザースキャナの Auto sensing mode .....	88-90
APPENDIX 6 CCD スキャナの Auto sensing mode .....	91-93

## はじめに

本スキャナは、VersaScanII イージープログラミングデコーダに対応します。ハイエンドのバーコード読取性能を、低価格で提供できるよう設計されています。本スキャナは、高性能なデコード技術を利用しています。本書に記載のスキャン設定バーコードをスキャンすることにより、簡単に一回で設定が可能です。本バーコードスキャナは、可動部分を持たない CCD（光学ダイオード技術）を使用しているため、耐久性があり、各種の過酷な環境条件に適応します。さらに、スキャナの LED イルミネーション光源のビームは、人間の目への害も少なく、製品寿命も長くなります。

**EZ One shot デコーダは、主に以下のカテゴリのバーコードスキャナに適合します。**

1. ショートレンジ – 読取レンジは、接触点から約 100mm
2. ミッドレンジ – 読取レンジは、接触点から約 180mm
3. ロングレンジ – 読取レンジは、約 5mm から 300mm
4. ワンドまたはペンバーコードスキャナ
5. スキャンエンジンと固定マウントスキャナ

注記：（製品番号の詳細は、取扱会社にお問い合わせください）

## 概要

本スキャナは、各種の利用条件に対応する多くの設定が可能です。しかし、通常の利用目的では、工場出荷時のデフォルト設定で使用できます。スキャナのパフォーマンスの特性を変更する特別な必要がない限り、デフォルト設定を変更しないことをお勧めします。

## 簡単なトラブルシューティング

本スキャナは、簡単に設置し使用できます。発生する問題のほとんどは、スキャナにプログラムされる設定の誤りによるものです。トラブルシューティングを行う前に、下記を試してください。

1. ホストコンピュータからケーブルを抜きます。
2. ホストコンピュータにケーブルを再度挿します。
3. スキャナ設定を DEFAULT(Group 1) にリセットします。

. A001\$



上記を行っても問題が解決しない場合、次ページのトラブルシューティング表を参照してください。以上で問題が解決しない場合、64～66ページのトラブルシューティングの項目を参照してください。

表2

No.	トラブルの種類	症状	対処方法
1	コンピュータタイプ (グループ1)	スキヤナは正常に動作しているようにみえるが、データが出力されない。	1. ホストコンピュータからケーブルを抜く 2. ホストコンピュータに再度ケーブルを挿す 3. スキヤナを正しいコンピュータタイプに直ちに設定する
2	インターフェースの選択(グループ1) (グループ1)	トリガが押し下げされていると、スキヤンされない。	1. ホストコンピュータからケーブルを抜く 2. ホストコンピュータに再度ケーブルを挿す 3. スキヤナを正しいインターフェースに設定する。インターフェースに適したケーブルを使用する
3	設定手順が完了しない (設定に三重のスキヤンが必要) グループ - 4, 5, 8, 9, 17, 18, 19, 20, 22, 23, 25, 31	スキヤナはデータを出力せず、スキヤン毎に3回ビープ音を鳴らす。本症状は、三重スキヤン設定が完了していないことを示す。設定によってはスキヤンを3回行う必要がある。 以下のような場合： 1. Preamble, Postamble (グループ4)(14ページ) 2. Accuracy Adjustment (グループ5)(15ページ) 3. Customer ID Configuration (グループ8 & 9)(18-19ページ) 4. Min/Max Length (グループ17, 18, 19, 20, 21, 22, 25) 5. ABC Codabar (グループ22 & 23) 6. CX-Codabar (グループ22 & 23) 7. Coupling Codabar (グループ22 & 23) 8. EAN 128 グループ31	1. 適切なページの設定の手順に従う 2. 設定が未了の場合、スキヤンビープ音が3回鳴る 3. RESETをスキヤンし再設定を行う
4	バーコード長の制限	スキヤナは正常に読み取りしているが、特定のバーコードの特定のコード長が読み取れない。	関連のバーコードシンボロジーのMin/Max設定をリセットする
5	RS232Cプロトコル通信設定の問題	スキヤナは、RS-232Cインターフェースで正常に動作しているようにみえるが、データが出力されない。	RS-232C通信パラメタが設定されていることを確認する: Baud Rate, Handshaking, Stop Bits, Data Bits, Parity これらの設定は、スキヤナとホストで同じに設定する。

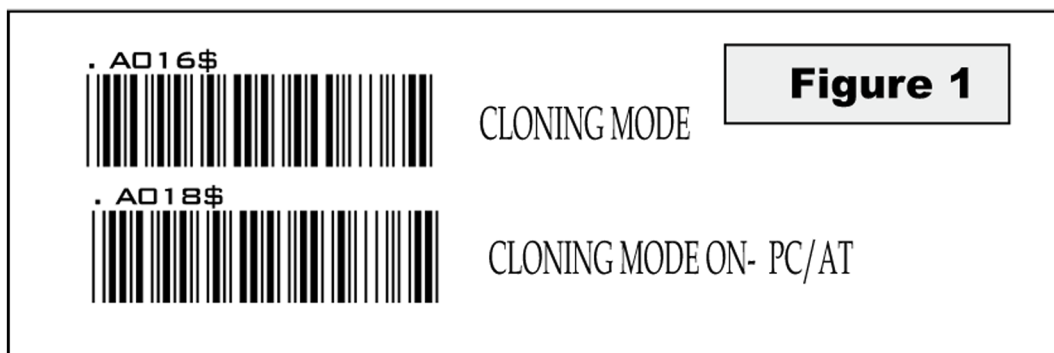
## クローニングモード

### クローニングモードの機能

「クローニング」はワンドの設定を、他のワンドにコピーします。複数のワンドを同じ設定にする必要がある場合、時間を節約できます。

### クローニングモードの動作

1. 本書を使用して、1個のワンドに必要な設定を行います。
2. 下記の CLONIMG MODE バーコードをスキャンします。
3. CLONIMG MODE をスキャンすると、すべての設定パラメータが英数字キャラクタに変換され、モニタに表示されます。
4. バーコードプリンタを使用して、すべての設定パラメータを Code 39 バーコードラベルとしてプリントします。
5. プリントしたラベルを他のワンドでスキャンし、プログラムします。



.A018\$ (PC/AT クローニングモード) - スキャナで選択されているデバイスにかかわらず、PC/AT に設定を複製できます。

### 注記：

1. クローニング文字列は、すべて大文字です。
2. ラベルにプリントされるクローニング文字列は、モニタの表示と同じ順番にします。
3. クローニングモードは Word Note Pad のみで使用できます。
4. 最初の行 (.A017\$) のデータは編集しないでください。クローニングのエントリゲートとなります。
5. クローニング文字列の長さは、複数の文字列を一つにまとめたり、一つの文字列を複数の文字列に分割して2番目の行 "... " から開始するように調整できます。長さは、4, 8, 12, 16, 20 (最長) などの、4の倍数です。
6. モニタに表示されているドットを正確にプリントします。

### クローニングのフォーマット

1 行目 >>> ".A017\$" (1 行目は変更しないこと)

2 行目 >>> "...XXXX" 文字列の長さを "... " ドットで始まるよう調整できます。文字列の長さは、4, 8, 12, 16, 20 (最長) の数となります。

3 行目 ~ >>>XXXX など

最終行 ~ ドット "." がクローニングの最後となります。

XXXX は任意の文字列

## 例：

### 1. プロジェクト割当：

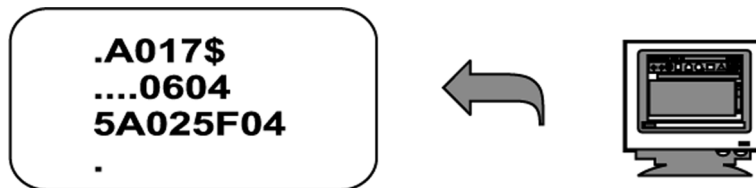
- 1.1 ビープ音：BEEP LOW – HIGH
- 1.2 Capslock モード：CAPSLOCK ON (FIXED)
- 1.3 読取モード：CONTINUOUS AUTO OFF

### 2. 設定手順：

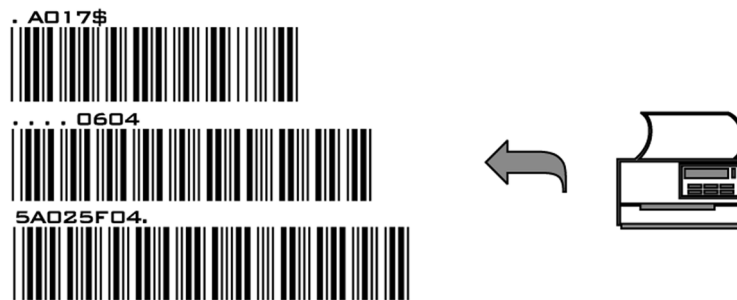
- 2.1 BEEP LOW – HIGH をスキャン（グループ 3）（13 ページ）
- 2.2 CAPSLOCK ON (FIXED) をスキャン（グループ 3）
- 2.3 CONTINUOUS AUTO OFF をスキャン（グループ 2）（12 ページ）

### 3. CLONING MODE（表 1）をスキャン

すべてのパラメータは英数字キャラクタに変換されてモニタに表示されます。

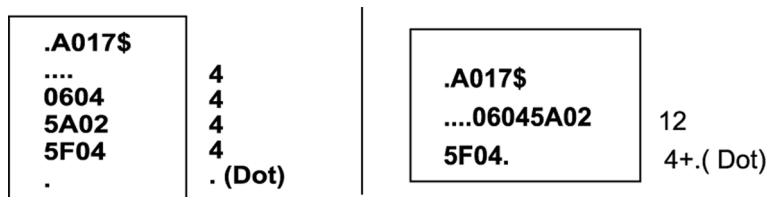


- 4. モニタに表示された結果を、バーコードプリンタを使用してバーコードとしてプリントします。バーコードは、Code 39 シンボロジーとなります。

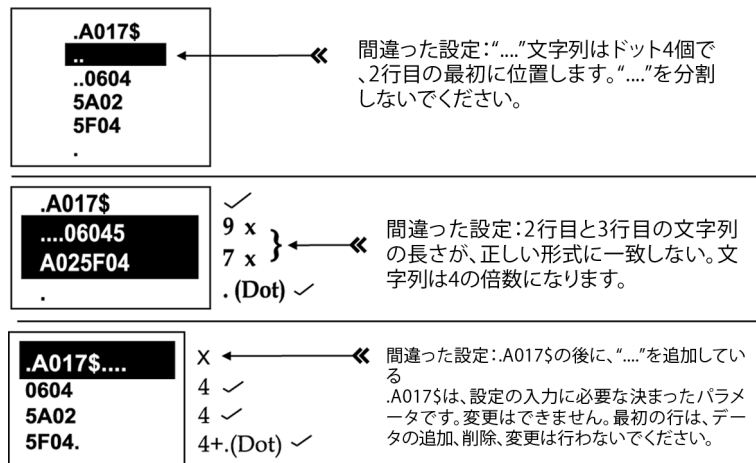


- 5. 同一の設定をプログラムするワンドの一つで、上記ラベルをスキャンします。最初の行から 2 番目の行、上から下へ順番にスキャンします。

### 正しい設定



### 間違った設定



# はじめに

## ワンドとホストコンピュータの接続

### キーボードウェッジインターフェース

1. ホストコンピュータの電源を落とします。
2. キーボードケーブルをコンピュータから抜きます。
3. Yケーブルで、キーボード、ワンド、コンピュータを接続します。
4. コンピュータを再起動します。
5. ワンドがビープ音を発します。
6. グループ 1 (11 ページ) (インターフェース選択) を参照して、スキャナをキーボードインターフェースに設定します。
7. ワンドが、設定を確定してビープ音を発します。
8. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。



### USB インターフェース

サポートする USB インターフェースは、Apple の MAC シリーズ、Windows 98, 2000, Me, XP 以降の PC で互換性があります。

1. USB ケーブルでスキャナとコンピュータを接続します。
2. スキャナがビープ音を発します。
3. スキャナが USB ドライバを自動的に検知します。(スキャナを初めて USB ポートに接続する際は、ホストコンピュータの指示に従ってください。)
4. スキャナの KEYBOARD/USB インターフェースを、グループ 1 (11 ページ) (インターフェース選択) を参照して設定します。
5. スキャナが、設定を確定してビープ音を発します。
6. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。





## RS-232C インターフェース

1. ホストコンピュータの電源を落とします。
2. RS-232C ケーブルで、ワンドとコンピュータを接続します。
3. 電源アダプタをケーブルに接続します。
4. コンピュータを再起動します。
5. 電源アダプタをコンセントに挿します。
6. ワンドがビープ音を発します。
7. グループ 1 (11 ページ) (インターフェース選択) を参照して、ワンドを RS-232C インターフェースに設定します。
8. RS-232C プロトコルを設定します：Baud Rate, Stop Bits, Handshaking, Data Bits, Parity
9. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。



### 電源アダプタの確認

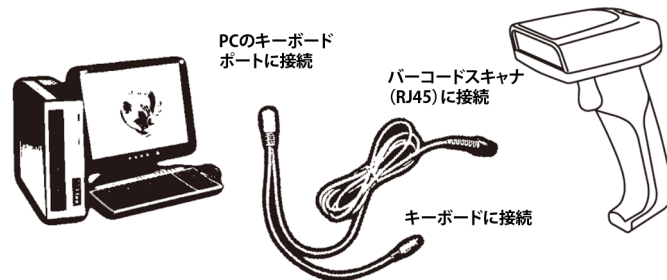
1. AC 電流 110V/220V の入力、スキャナを使用する国の電源供給の標準に合致すること
2. アダプタ出力は +5V DC
3. 電源ジャックの入力は +5V DC

### 注記：

1. ワンドを電源アダプタに挿す際は、スキャナとコンピュータに深刻なダメージを与えないために、電圧、消費電力、内部 / 外部 DC 特性が正しいことを確認してください。
2. ワンドのプロトコル通信設定（ボーレートやデータビットなど）が、ホストコンピュータの特性に一致することを確認してください。一致しない場合、データが転送されません。

## スキャナとホストターミナルの接続：ハンドヘルドバーコードスキャナ キーボードウェッジインターフェース

1. ホストコンピュータの電源を落とします。
2. キーボードケーブルをコンピュータから抜きます。
3. Yケーブルで、キーボード、スキャナ、コンピュータを接続します。
4. コンピュータを再起動します。
5. スキャナがビープ音を発します。
6. グループ 1 (9 ページ) (インターフェース選択) を参照して、スキャナをキーボードインターフェースに設定します。
7. スキャナが、設定を確定してビープ音を発します。
8. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。

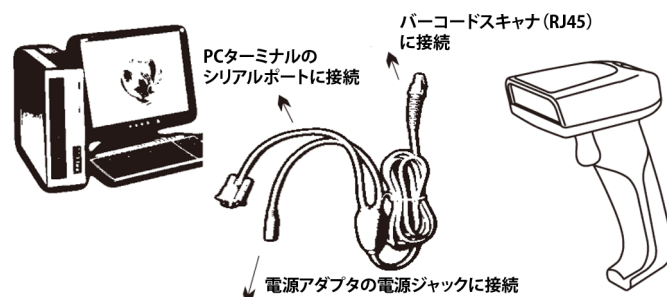


## RS-232C インターフェース

1. ホストコンピュータの電源を落とします。
2. RS-232C ケーブルで、スキャナとコンピュータを接続します。
3. 電源アダプタをケーブルに接続します。
4. コンピュータを再起動します。
5. 電源アダプタをコンセントに挿します。
6. スキャナがビープ音を発します。
7. グループ 1 (9 ページ) (インターフェース選択) を参照して、スキャナを RS-232C インターフェースに設定します。
8. RS-232C プロトコルを設定します：Baud Rate, Stop Bits, Handshaking, Data Bits, Parity
9. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。

### 注記：

1. スキャナを電源アダプタに挿す際は、スキャナとコンピュータに深刻なダメージを与えないために、電圧、消費電力、内部 / 外部 DC 特性が正しいことを確認してください。
2. スキャナのプロトコル通信設定（ボーレートやデータビットなど）が、ホストコンピュータの特性に一致することを確認してください。一致しない場合、データが転送されません。



### 電源アダプタの確認

1. AC 電圧 110V/220V の入力が、スキャナを使用する国の電源供給の標準に合致すること
2. アダプタ出力は +5V DC
3. 電源ジャックの入力は +5V DC

## USB インターフェース

サポートする USB インターフェースは、Apple の MAC シリーズ、Windows 98, 2000, Me, XP 以降の PC で互換性があります。

1. USB ケーブルでスキャナとコンピュータを接続します。
2. スキャナがビープ音を発します。
3. スキャナが USB ドライバを自動的に検知します。(スキャナを初めて USB ポートに接続する際は、ホストコンピュータの指示に従ってください。)
4. スキャナの KEYBOARD/USB インターフェースを、グループ 1 (インターフェース選択) を参照して設定します。
5. スキャナが、設定を確定してビープ音を発します。
6. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。

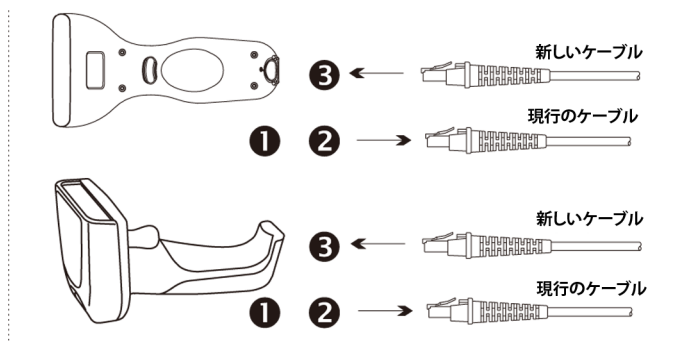


## ケーブルの変更

CCD スキャナは、インターフェースオプションを簡単に変更できるよう設計されています。インターフェースを変更するには、適切なケーブルを使用する必要があります。ケーブルを変更するには、以下の手順に従います：

1. ケーブルを外すには、ケーブルが接続されているスキャナ底面の穴に、ピンかペーパークリップを伸ばしたものを差し込みます。
2. ケーブルをスキャナから取り外します。
3. 新しいケーブルを挿します。

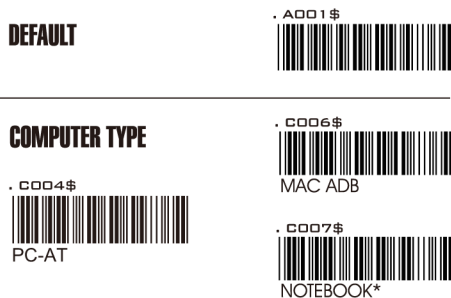
新しいケーブルに変更したら、(RS-232C インターフェースのパラメータ設定を含む) インターフェース設定を適切にリセットします。





# グループ 1

## インターフェース選択、コンピュータタイプ、デフォルト



### 症状

スキャナは正常に動作しているように見えるが、データが出力されない。

### 対処方法

1. ケーブルをホストコンピュータから抜く
2. ケーブルをホストコンピュータに再度挿す
3. スキャナを正しいコンピュータタイプに設定する

**警告：**スキャナを新しいホストコンピュータに接続する際は、正しいコンピュータタイプが設定されていることを確認してください。Notebook に設定されている場合、スキャナは外部キーボード無しで動作します。



### 症状

ワンドがスキャンをしない/トリガが押し下げられているとスキャナがスキャンしない。

### 対処方法

1. ホストコンピュータからケーブルを抜く
2. ホストコンピュータに再度ケーブルを挿す
3. ワンドを正しいインターフェースに直ちに設定する。ケーブルはインターフェースに一致する必要がある

**警告：**本スキャナは、インターフェースオプションを簡単に変更できるよう設計されています。インターフェースを変更するには、適切なケーブルを使用する必要があります。ケーブルを変更した場合は、インターフェース設定を適切にリセットしてください。



## グループ 2 読取モード設定



- \* LED は常にオン
- \* トリガは Continuous Mode では動作しない



- \* バーコードがスキャナに近接している場合、LED は恒常的にオンだが、バーコードが 60 秒間検知されない場合、点滅を開始する。
- \* Flash Mode では、トリガは動作しない。



- \* LED は、トリガが押されると点灯。
- \* LED は、トリガをリリースすると消灯。



- \* LED は、トリガが押されると常時点灯。
- \* LED は、バーコードが 60 秒間検知されないと消灯。



- \* 本機能は、Trigger Mode と同機能だが、スキャナがビープ音を鳴らして正常読取を知らせる。



- \* Auto-Sensing(Triggerless) Mode がオンの場合、バーコードが検知されないと LED は消灯する。
- \* LED は、バーコードを検知すると自動的に点灯。



- \* Ultraviolet Mode がオンの場合、紫外線の光源が点灯し続けます。
- \* トリガが押されると紫外線光が消灯し、トリガを放すと再度点灯します。



- \* 工場テストスキャン

### 注記：

1. スキャナの寿命を延ばすには、スキャナを、Trigger Mode、Continuous Auto Off Mode で稼働してください。
2. 一部のモデルのみ、Auto-Sensing と Ultraviolet のモードをサポートしています。
3. Ultraviolet Mode のバーコードをプリントし、いつでもスキャンできるよう作業環境に置いておくとう便利です。
4. Ultraviolet Mode では、トリガボタンを押すと、読取モードが Ultraviolet Mode から直前のモードに変わります。
5. LED はスタンバイで赤色に、正常読取で緑色に点灯します。
6. Trigger Mode は、通常のハンドヘルドバーコードスキャナで利用可能ですが、トリガは、スイッチ機能のあるワンドのみで利用可能です。

## グループ 3

### チェックバージョン、ビーブトーン、ターミネータ、データ長送信

#### BEEP TONE MODE

2.7KHz

.F019\$



BEEP HIGH

.F021\$



BEEP HIGH--LOW

.F018\$



**BEEP MEDIUM**

.F020\$



BEEP LOW--HIGH

.F022\$



BEEP LOW

2.1KHz

.F012\$



BEEP OFF

.F014\$



BEEP HIGH

.F016\$



BEEP HIGH--LOW

.F013\$



**BEEP MEDIUM**

.F015\$



BEEP LOW--HIGH

.F017\$



BEEP LOW

Contact /pen type use only

#### CHECK VERSION

.A007\$



CHECK VERSION

#### TERMINATOR

.D010\$



NONE

.D011\$



LF

.D012\$



**CR**

.D013\$



**CR+LF**

.D014\$



TAB

.D015\$



SPACE

.D016\$



ESC

#### 注記：

1. キーボードウェッジインターフェースは、デフォルトのターミネータはCRです。
2. USB インターフェースは、デフォルトのターミネータはCRです。
3. RS-232C インターフェースは、デフォルトのターミネータはCR + LF です。

#### SEND DATA LENGTH

.D019\$



SEND DATA LENGTH ON

.D020\$



SEND DATA LENGTH OFF

## グループ 4

### セットアップコード読取、プリアンブル&ポストアンブル

---

#### SETUP CODE READ



#### 注記：

\* 1 本設定は、ユーザによる手動の設定をディセーブルにします。バーコード設定を使用するには、Setup Code On イネーブルバーコード設定をスキャンします。

#### PREAMBLE & POSTAMBLE ( PREFIX AND SUFFIX )



#### 例：

PREAMBLE キャラクタを "##" に設定します。

POSTAMBLE キャラクタを "\$\$" に設定します。

#### 設定手順：

ステップ 1：スキャン：PRE/POSTAMBLE をクリアします。

ステップ 2：スキャン：PREAMBLE

ステップ 3：スキャン：フル ASCII 表から "#" を 2 回

ステップ 4：スキャン：PREAMBLE

ステップ 5：スキャン：POSTAMBLE

ステップ 6：スキャン：フル ASCII 表から "\$" を 2 回

ステップ 7：スキャン：POSTAMBLE

#### フォーマット：

{Preamble}{Code ID}{Bar Code}{Postamble}

#### 注記：

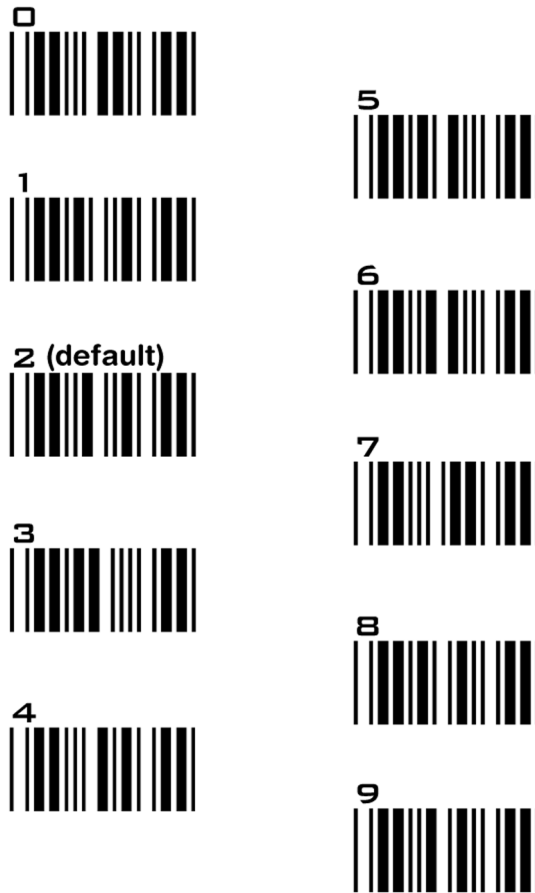
1. PREAMBLE は最長 16 文字の文字列で、スキャンしたバーコードの先頭に付加します。
2. POSTAMBLE は最長 16 文字の文字列で、スキャンしたバーコードの末尾に付加します。
3. デフォルト値：どちらも None



# グループ 5

## 正確性調整

---



---

**ACCURACY  
ADJUSTMENT**



正確性調整により、デコード出力の信頼性が向上します。本機能をイネーブルにし1から9の数字を設定すると、デコード出力により高い正確性を可能にします。数字が大きいほど、正確性は向上します。

### 設定手順：

1. ACCURACY ADJUSTMENT をスキャン
2. 上記バーコードメニューから、数字1桁（1-9）をスキャン
3. ACCURACY ADJUSTMENT をスキャン



### 注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。

# グループ 6

## ラベルタイプ POSITIVE/NEGATIVE, CODE ID のイネーブルとディセーブル

### LABEL TYPE POSITIVE / NEGATIVE

.D021\$



DISABLE NEGATIVE LABEL  
(POSITIVE LABEL ENABLE) (X)

.D022\$



ENABLE NEGATIVE LABEL  
(POSITIVE & NEGATIVE ENABLE) (X)

(X) Contact /pen type can't use

### ENABLE CODE ID

.A008\$



FACTORY ID ON

.A014\$



AIM ID ON

.A015\$



SET ID -ON

### DISABLE CODE ID

.A009\$



### 注記：

1. CODE ID は 1 個だけ送信されます。
2. CODE ID は、バーコードの前かプリアンブルの後に位置します。

### 例：

1. プリアンブル 145287
2. CODE ID : AIM ID のイネーブル
3. バーコードシンボロジー : EAN 13+5

145287	JE0	4 563987 123453	12411
Preamble 145287	CODE ID AIM ID : JE0	BARCODE / DATA EAN 13 +5	
OUTPUT : 145287]E0456398712345312411			

# グループ 7

## シンボロジー CODE ID 識別子、SET ID

Symbologies	Factory ID	AIM ID (new)	Symbologies	Factory ID	AIM ID (new)
MSI	O	JM0	EAN 128	T	JC1
MSI(MOD 10 / CDV & not send CD)		JM1	Code 128	K	JC0
EAN8(+2/+5 OFF)	S	JE4	Code 32	B	JX0
EAN8(+2 ON)		JE4	Codabar	N	JF0
EAN8(+5 ON)	JE4	Codabar(ABC Codabar)	JF1		
UPC-E(+2/+5 OFF)	E	JE0	Codabar(CDV & Send CD)		JF2
UPC-E(+2 ON)		JE3	Codabar(CDV & not send CD)	JF4	
UPC-E(+5 ON)		JE3	UK Plessey	P	JP0
UPC-A(+2/+5 OFF)	A	JE0	Matrix 2 of 5	Y	JX0
UPC-A(+2 ON)		JE3	Full ASCII Code 39(disable CDV)	D	JA4
UPC-A(+5 ON)		JE3	Full ASCII Code 39(CDV & send CD)		JA5
EAN-13(+2/+5 OFF)	JE0	Full ASCII Code 39(CDV & not send CD)	JA7		
EAN-13(+2 ON)	F	JE3	Standard Code 39(disable CDV)	M	JA0
EAN-13(+5 ON)		JE3	Standard Code 39(CDV & send CD)	JA1	
Code 93	L	JG0	Standard Code 39(CDV & not send CD)		JA3
Code 11(disable CDV)	J	JH0	IATA 2 of 5	R	JR0
Code 11(send one CD)		JH0	Industrial 2 of 5	V	JS0
Code 11(send two CD)		JH1	China Post Code	H	JX0
Code 11(not send CD)		JH3	Interleaved 2 of 5(CDV & send CD)		JH1
Telepen(ASCII)	U	JB0	Interleaved 2 of 5(CDV & not send CD)	I	JH3
Telepen(Numeric)		JB1	Interleaved 2 of 5(disable CDV)		JH0

### SET ID – 設定手順

#### 設定手順：

1. シンボロジーの SET ID バーコードをスキャン
2. フル ASCII 表から 1 個か 2 個の英数字をスキャン
3. SET ID バーコードを再度スキャン

**例：MSI Code ID = A, Code 93 = G9 を定義**

**MSI:**

ステップ 1：MSI Set ID (グループ 9) をスキャン (19 ページ)

ステップ 2：グループ 37 から "A" (55 ページ)

ステップ 3：MSI Set ID (グループ 9) をスキャン (19 ページ)

**Code 93：**

ステップ 1：Code 93 (グループ 8) をスキャン (18 ページ)

ステップ 2：グループ 38 から "G"、グループ 33 から "9" をスキャン (51 ページ)

ステップ 3：Code 93 Set ID (グループ 8) をスキャン (18 ページ)

#### 注記：

1. Code ID の長さは、1 個か 2 個の文字です。1 個の文字列を設定すると、Code ID 出力は、1 個の文字列となります。2 個の文字列を設定すると、Code ID 出力は、2 個の文字列となります。
2. 1 種類のタイプの Code ID だけが送信されます。

# グループ 8

## CODE ID 設定 : SET ID

---

. P001\$ 	EAN 13 Set ID
. P002\$ 	EAN 8- Set ID
. P003\$ 	UPC E Set ID
. P004\$ 	UPC A Set ID
. P005\$ 	CODE 39 Set ID
. P013\$ 	Code 93 Set ID
. P007\$ 	Codabar Set ID
. P021\$ 	IATA Set ID
. P010\$ 	Code 128 Set ID
. P016\$ 	EAN128 Set ID
. P022\$ 	Telepen Set ID
. P009\$ 	Code 11 Set ID
. P011\$ 	Code 32 Set ID

# グループ 9

## CODE ID 設定 : SET ID

---

China Post Code  
[ TOSHIBA Code ] Set ID



MSI Code Set ID



UK Plessey Set ID



Matrix 2 of 5 Set ID



Interleaved 2 of 5  
Set ID



Industrial 2 of 5 Set ID



Full ASCII Code39  
Set ID



RSS 14/LIMITED



RSS-Expand Set ID



RSS-14 Set ID



LABEL Code Set ID  
( Reserved )



---

**RESET**



### 注記 :

1. 本スキャナは、設定が完了していないとビープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。

# グループ 10

## ブロックとキャラクタ間のディレイ

---

### INTERBLOCK DELAY

. B001\$ 	<b><u>0mS</u></b>
. B002\$ 	10mS
. B003\$ 	50mS
. B004\$ 	100mS
. B005\$ 	200mS
. B006\$ 	500mS

---

### INTERCHARACTER DELAY

. B010\$ 	<b><u>140uS</u></b>
. B011\$ 	500uS
. B012\$ 	1mS
. B013\$ 	4mS
. B014\$ 	16mS

# グループ 11

## キーボードレイアウト / CAPLOCK モード / 数字キー

### KEYBOARD LAYOUT



ENGLISH (USA)



ENGLISH (UK)



GERMAN



FRENCH



JAPAN (106 key only)



SPANISH



ITALIAN



UNIVERSAL CODE



SWISS



CZECH (QWERTY)



CZECH (X)



HUNGARIAN (X)

(X) Contact /pen type can't use

### CAPITAL LOCK MODE



CAPLOCK ON



CAPLOCK OFF



CAPLOCK FREE

### 注記：

1. バーコードスキャナが Caplock Free モードに設定された場合、キーボードの Capslock LED インジケータのオン / オフにかかわらず、出力はバーコード設定と同じになります。すなわち、見た通りの出力となります。
2. ABCD/ABCD, abcd/abcd, ABCD/T\*E, abcd/tn\*e がオンの場合、ルールに従って、個別に動作します。

### NUMERIC KEY



NUMERIC KEY



ALPHANUMERIC KEY

# グループ 12

## RS232: BAUD RATE, DATA BITS & PARITY

---

### BAUD RATE



---

### DATA BITS & PARITY





# グループ 13

## RS232: STOP BIT, HANDSHAKING, ACK/NAK、 FLOW CONTROL, RCC

---

### STOP BITS



**1 STOP BITS**



2 STOP BITS

---

### HANSHAKING



**NONE**



RTS enable at Power on



RTS enable with Communication

---

### ACK / NAK



ON



**OFF**

---

### FLOW CONTROL: TIME OUT



**1 Sec**



3 Sec



10 Sec



Unlimited

---

### BCC (Binary Check Characher)



RS232 BCC Char On



RS232 BCC Char Off

# グループ 14

## ワンドエミュレーションのパラメタ設定

---



**LEVEL DURATION OF  
MINI WIDTH**



**POLARITY OF  
IDLE CONDITION**



**OUTPUT OF WAND  
EMULATION**



**WAVE FORM**



# **グループ 15 ~ 33**

## **シンボロジーのフォーマット**

# グループ 15

## シンボロジーのイネーブル

---

. A002\$



ENABLE ALL CODE

. K010\$



CODE 32

. K001\$



**CHINA POSTAL CODE**

. L010\$



UK PLESSY CODE

. N001\$



INDUSTRIAL 2 OF 5

. M010\$



MATRIX 2 OF 5

. J001\$



**INTERLEAVED 2 OF 5**

. J010\$



**CODE 128**

. I001\$



**CODABAR**

. L014\$



TELEPEN

. G021\$



PDF417

. H001\$



**UPC-A**

. H007\$



**UPC-E**

. H019\$



**EAN -8**

. H013\$



**EAN -13**

. L001\$



MSI

. G008\$



**CODE 39**

. I010\$



**CODE 11**

. G010\$



CODE 93

. M001\$



**EAN-128**

. N017\$



IATA

# グループ 16

## シンボロジーのディセーブル

---



DISABLE ALL CODE



**CODE 32**



CHINA POSTALCODE



**UK PLESSY CODE**



**INDUSTRIAL 2 OF 5**



**MATRIX 2 OF 5**



INTERLEAVED 2 OF 5



CODE 128



CODABAR



**TELEPEN**



**PDF417**



UPC-A



UPC-E



EAN-8



EAN-13



**MSI**



CODE 39



CODE 11



**CODE 93**



EAN -128



**IATA**

# グループ 17

## シンボロジー：CHINA POST CODE(TOSHIBA CODE)

---

**CHINA POSTAL CODE  
[ TOSHIBA CODE ]**

. K001\$



**ENABLE**

. K002\$



DISABLE

. K003\$



**DISABLE CDV**

. K004\$



CDV & SEND CD

. K005\$



CDV & NOT SEND CD

. K006\$



MIN LENGTH ( 11 )

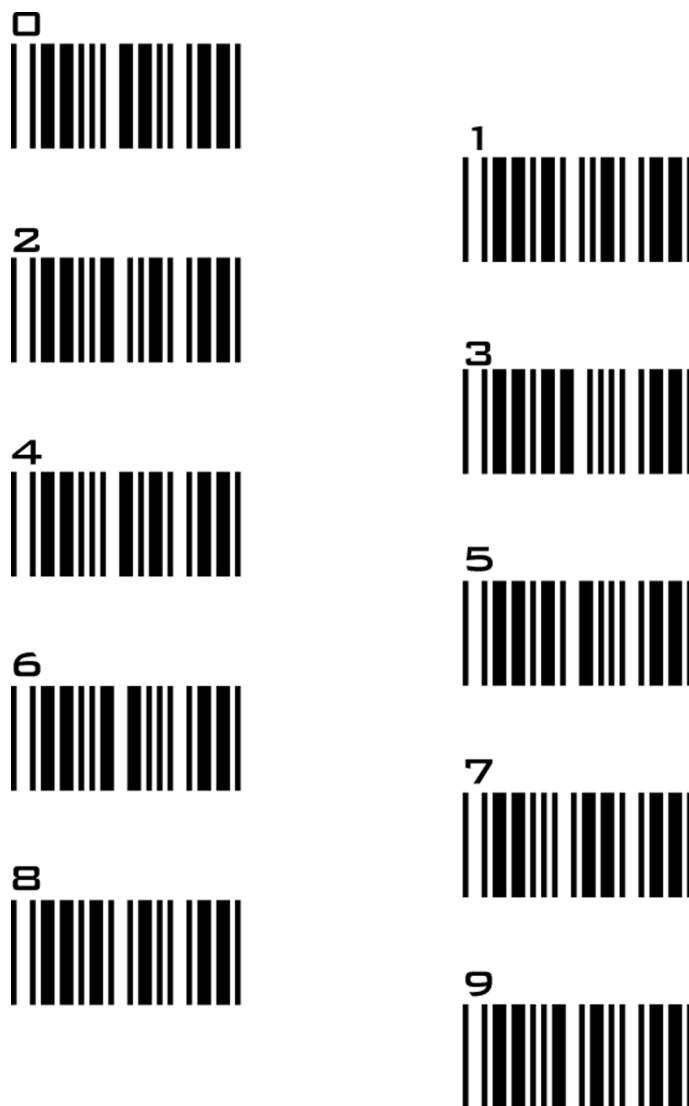
. K007\$



MAX LENGTH ( 48 )

# APPENDIX

## フル ASCII (Code 39) 数字表



### 設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン : MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン : Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン : MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

### 注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



# グループ 18

## シンボロジー : MSI CODE, UK PLESSY CODE

---



### MSI



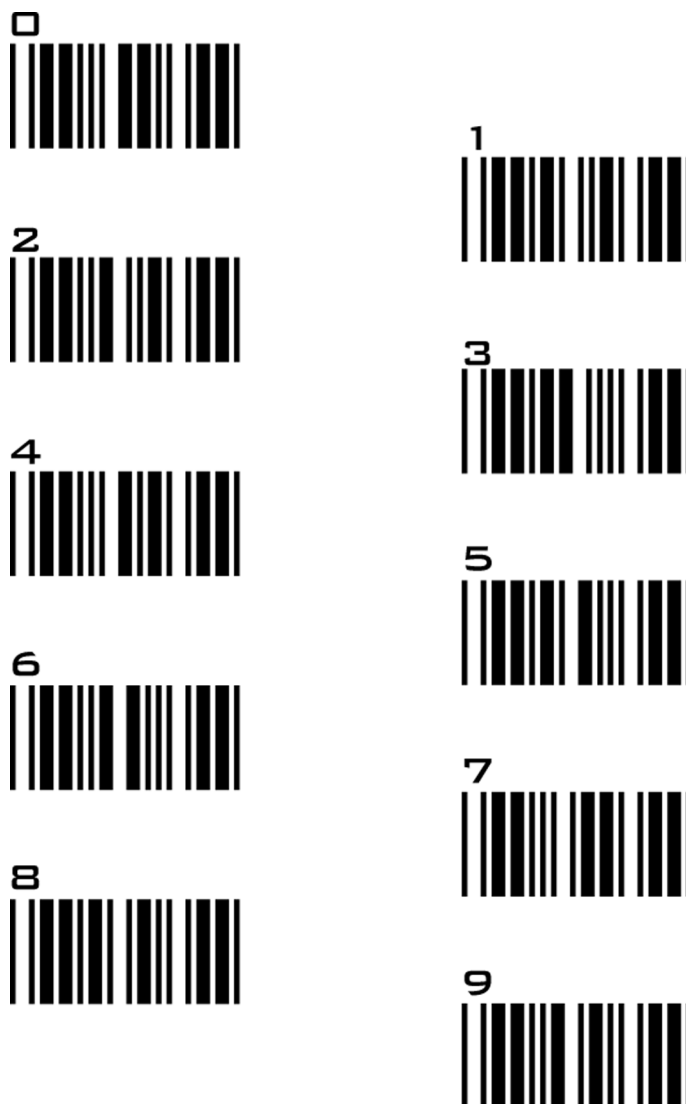
### UK PLESSY CODE





# APPENDIX

## フル ASCII (Code 39) 数字表



### 設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

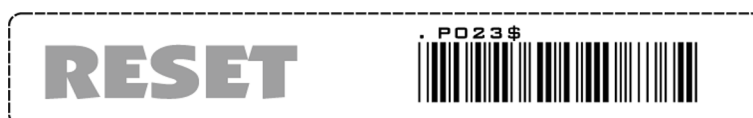
ステップ 2 – スキャン: Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

### 注記:

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



# グループ 19

## シンボロジー : CODE 93, TELEPEN, IATA

---



ENABLE



**DISABLE**

### CODE 93



MIN LENGTH ( 6 )



MAX LENGTH ( 48 )



ENABLE TELEPEN



**DISABLE TELEPEN**

### TELEPEN



TELEPEN ASCII



TELEPEN NUMBER



**ENABLE**



DISABLE



**DISABLE CDV**



CDV & SEND CD

### IATA



CDV & NOT SEND CDV



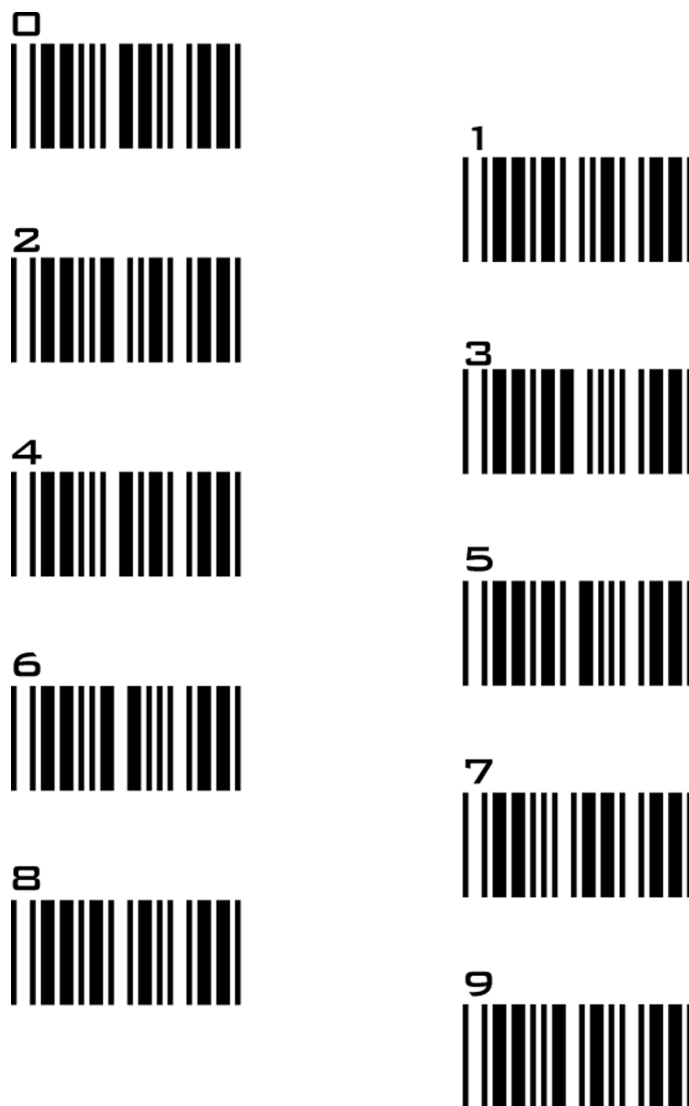
MIN LENGTH ( 6 )



MAX LENGTH ( 48 )

# APPENDIX

## フル ASCII (Code 39) 数字表



### 設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン：Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメータに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

### 注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



# グループ 20

## シンボロジー : INTERLEAVE 2 OF 5, CODE 11

---



**ENABLE**



DISABLE



**DISABLE CDV**



CDV & SEND CD



CDV & NOT SEND CDV

### INTERLEAVE 2 OF 5



First digit suppressed



Last digit suppressed



**NO suppressed**



MIN LENGTH ( 6 )



MAX LENGTH ( 48 )



ENABLE



**DISABLE**



**DISABLE CDV**



CDV & SEND CD



CDV & SEND CD  
(1 DIGIT)

### CODE 11



CDV & SEND CD  
(2 DIGITS)



CDV & NOT SEND CD



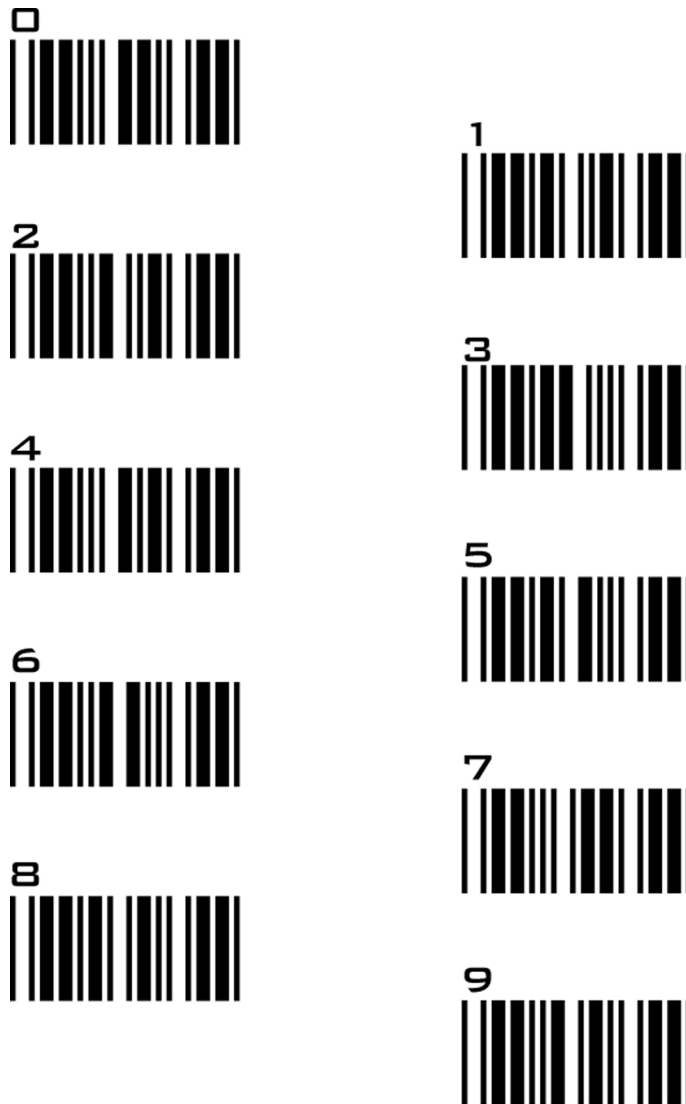
MIN LENGTH ( 6 )



MAX LENGTH ( 32 )

# APPENDIX

## フル ASCII (Code 39) 数字表



### 設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン: Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

### 注記:

1. 本スキャナは、設定が完了していないとビーブ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



# グループ 21

## シンボロジー : INDUSTRIAL 2 OF 5, MATRIX 2 OF 5

---



ENABLE



**DISABLE**



**DISABLE CDV**



CDV & SEND CD

### INDUSTRIAL 2 OF 5



CDV & NOT SEND CD



MIN LENGTH ( 6 )



MAX LENGTH ( 48 )



ENABLE



**DISABLE**



**DISABLE CDV**



CDV & SEND CD

### MATRIX 2 OF 5



CDV & NOT SEND CD



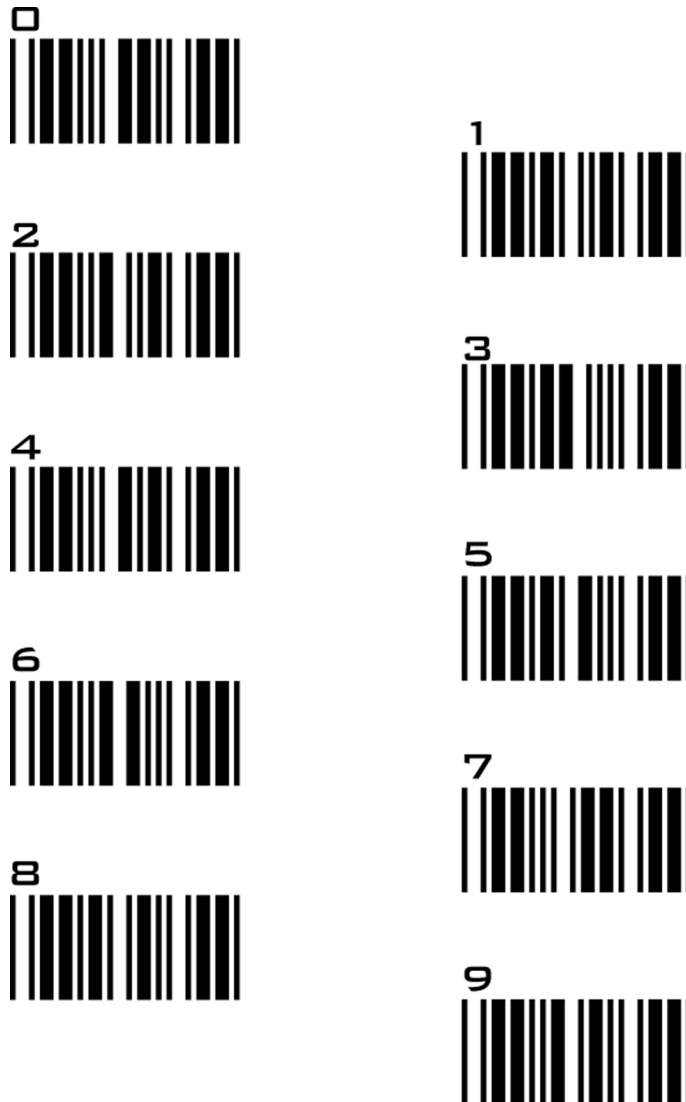
MIN LENGTH ( 6 )



MAX LENGTH ( 48 )

# APPENDIX

## フル ASCII (Code 39) 数字表



### 設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン：Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

### 注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとビーブ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



# グループ 22

## シンボロジー：CODABAR

---



**ENABLE**



DISABLE



**DISABLE CDV**



CDV & SEND CD

### CODABAR



CDV & NOT SEND CD



MIN LENGTH ( 6 )



MAX LENGTH ( 48 )



ST/SP: abcd/abcd



**ST/SP: ABCD/ABCD**



ST/SP: ABCD/TN\*E



ST/SP:abc/tn\*e

### START / STOP



**SEND START /STOP**



Not Sent START / STOP

#### Example of ST ( Start ) / SP ( Stop )

123456	Not Transmit ST/SP
A123456B	ST/SP: ABCD/ABCD
a123456b	ST/SP: abcd/abcd
A123456N	ST/SP: ABCD/TN*E
a123456n	ST/SP: abcd/tn*e



**CLSI FORMAT ON**



CLSI FORMAT OFF

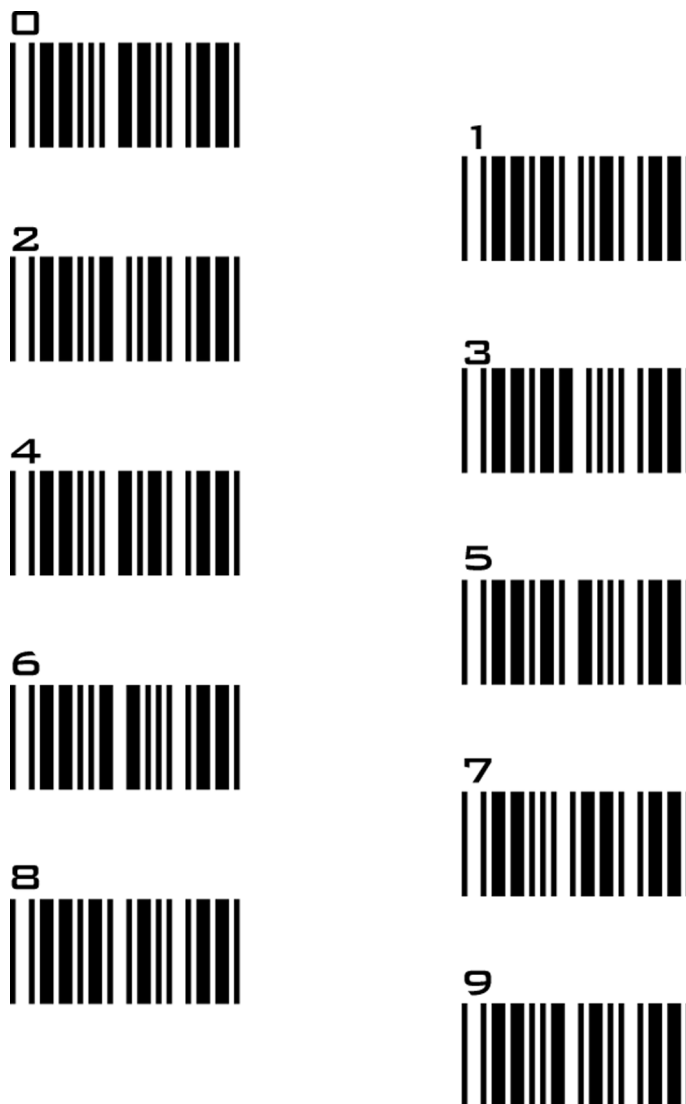
### CLSI FORMAT

CLSI - ライブラリスペースの挿入をイネーブルにする。CLSI フォーマットをイネーブルにすると、ライブラリシステムでの使用のため、データストリングのポジション2, 7, 13にスペースを挿入する



# APPENDIX

## フル ASCII (Code 39) 数字表



### 設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン：Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

### 注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



# グループ 23

## シンボロジー：ABC-CODABAR, CX-CODABAR

---



ON



**OFF**



SET INSERT DATA\*

### ABC- CODABAR



INSERT DATA -ON



INSERT DATA-OFF

\* データはフル ASCII 表 (グループ 34-42) (53-61 ページ) の任意の英数字が可能

ABC-CODABAR(American Blood Commision)。ABC Code はアメリカ血液委員会の頭文字です。本バーコードは、CODABAR Code の一種で、血液銀行用に作成されました。本コードは、1 回の読取サイクルでデコードされる 2 つのバーコードで構成されます。最初のバーコードのストップキャラクタと 2 番目のバーコードのスタートキャラクタが "D" の場合、連結されます。この 2 つの "D" は、転送されません。



ON



**OFF**



SET INSERT DATA\*

### CX CODE- CODABAR



INSERT DATA -ON



INSERT DATA-OFF

\* データはフル ASCII 表 (グループ 34-42) (53-61 ページ) の任意の英数字が可能

### 注意：

CX-Code は、1 回の読取サイクルでデコードされる 2 つのバーコードから構成され、最初のバーコードのストップキャラクタが C で、2 番目のバーコードのスタートキャラクタが B の場合、連結されます。B と C のキャラクタは、転送されません。

# グループ 24

## シンボロジー：CODABAR-COUPLING, ADJACENT REQUIRED



ON



OFF



SET INSERT DATA\*

### CODABAR COUPLING



INSERT DATA-ON



INSERT DATA- OFF

ABC-Codabar と CX-Codabar は、最初のバーコードのストップキャラクタと 2 番目のバーコードのストップキャラクタの連結時に一定のルールがあります。Codabar-Coupling がイネーブルにされている場合、任意の 2 つの Codabar バーコードは、最初のバーコードのストップキャラクタと 2 番目のバーコードのスタートキャラクタに特に制限無く、1 個のデータセットにすることができます。各バーコードのスタートとストップのキャラクタも送信されます。

\* データは、フル ASCII 表の任意の英数字が可能です。(グループ 34-42) (53 ~ 61 ページ)

### ADJACENT REQUIRED

CODABAR ADJACENT がイネーブルにされている場合、スキャナは 2 つの隣接する Codabar のみ読み取ります。単独のバーコードは読み取れません。



ON



OFF

### 注記：

1. Codabar-Coupling もイネーブルもイネーブルにされている時以外は、ABC-Codabar と CX-Codabar を同時にイネーブルできません。
2. ABC-Codabar、CX-Codabar、Codabar-Coupling が同時にすべてイネーブルにされている場合、スキャナは Codabar-Coupling のみを読み取り、ABC-Codabar と CX-Codabar はカップリングフォーマットと見なされます。

### 設定手順 - 挿入データの設定

ステップ 1 - SET INSERT DATA をスキャン

ステップ 2 - フル ASCII 表で、任意の英数字キャラクタの組合せをスキャン

ステップ 3 - SET INSERT DATA をスキャン



1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。

# グループ 25

## シンボロジー：STANDARD & FULL ASCII CODE 39, CODE 32

### STANDARD CODE 39 & FULL ASCII CODE 39



**ENABLE**



DISABLE



**FULL ASCII CODE 39**

**ENABLE**



FULL ASCII CODE 39  
DISABLE



START / STOP - SEND



LAST DIGIT SUPPRESSED OFF



**DISABLE CDV**



CDV & SEND CD



CDV & NOT SEND CD



MIN LENGTH ( 1 )



MAX LENGTH ( 48 )



**START / STOP Not SEND**



LAST DIGIT SUPPRESSED ON

### 注記：

Code 39 のデフォルトは、Standard Code 39 です。Full ASCII Code 39 がイネーブルにされている場合、Standard Code 39 は自動的にディセーブルになります。



ENABLE



**DISABLE**



**LEADING SEND**

### CODE 32



LEADING NOT SEND



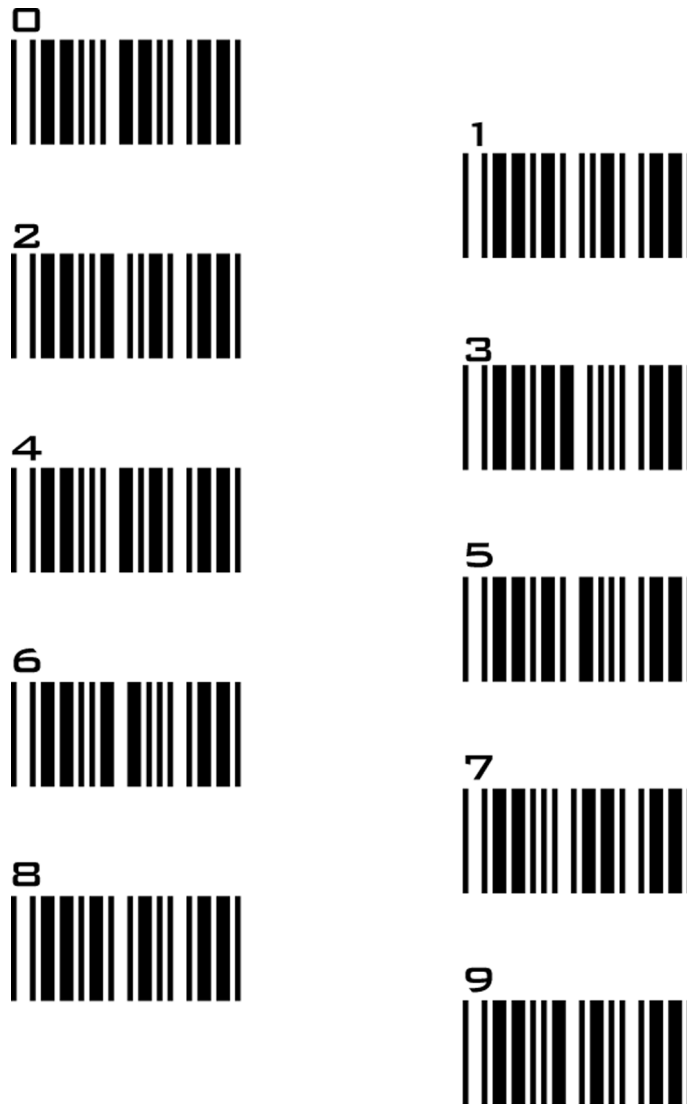
**TAILING SEND**



TAILING NOT SEND

# APPENDIX

## フル ASCII (Code 39) 数字表



### 設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン：Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

### 注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



## グループ 26

### シンボロジー：UPC-E システムナンバー

---

#### UPC E0



E ( 0 ) OFF



**E ( 0 ) ON**

---

#### UPC E1



E ( 1 ) ON



**E ( 1 ) OFF**

#### 注記：

UPC バーコードは通常 0 ナンバーシステムで始まります。UPC E(0) 選択を使用するバーコード、1 ナンバーシステムで始まるバーコードの場合、UPC(E1) 選択を使用してください。

#### UPC-E EXPAND TO UPC-A



ENABLE



**DISABLE**

#### 注記：

1. UPC E EXPAND TO UPC A FORMAT 設定がイネーブルの場合、UPC-A の出力は 12 桁です。
2. UPC-A のデフォルトの出力は 12 桁で、UPC-A EXPAND TO EAN 13 がイネーブルの場合、バーコードの先頭に 0 が付加されます。

# グループ 27

## シンボロジーのフォーマット：UPC-E

---



**ENABLE**



DISABLE



**LEAD DIGIT SEND**

**UPC-E**



LEAD DIGIT NO SEND



**CHECK DIGIT SEND**



CHECK DIGIT NO SEND



+5 ON



**+ 5 OFF**



+2 ON



**+ 2 OFF**

**ADD ON SUPPLEMENT**



ADD A SPACE ON



**ADD A SPACE OFF**



**ADDENDA REQUIRED OFF**



ADDENDA REQUIRED ON

---

### 注記：

“addenda required on” が設定されている場合、スキャナは “+2 / +5 ” のひとつまたは両方がオンのアデンダを持つバーコードのみ読み取ります。

# グループ 28

## シンボロジーのフォーマット：UPC-A

---



**ENABLE**



DISABLE



**LEAD DIGIT SEND**

**UPC- A**



LEAD DIGIT NO SEND



**CHECK DIGIT SEND**



CHECK DIGIT NO SEND

**UPC-A EXPAND  
TO EAN -13**



ENABLE



**DISABLE**



+5 ON



**+ 5 OFF**



+2 ON



**+ 2 OFF**

**ADD ON SUPPLEMENT**



ADD A SPACE ON



**ADD A SPACE OFF**



**ADDENDA REQUIRED OFF**



ADDENDA REQUIRED ON

**注記：**

“addenda required on” が設定されている場合、スキャナは“+2 / +5”のひとつまたは両方がオンのアデンダを持つバーコードのみ読み取ります。



# グループ 29

## シンボロジーのフォーマット：EAN 8

---



**ENABLE**



DISABLE



**LEAD DIGIT SEND**

**EAN-8**



LEAD DIGIT NO SEND



**CHECK DIGIT SEND**



CHECK DIGIT NO SEND



+ 5 ON



**+ 5 OFF**



+ 2 ON



**+ 2 OFF**

**ADD ON SUPPLEMENT**



ADD A SPACE ON



**ADD A SPACE OFF**



**ADDENDA REQUIRED OFF**



ADDENDA REQUIRED ON

### 注記：

“addenda required on”が設定されている場合、スキャナは“+2/+5”のひとつまたは両方がオンのアデンダを持つバーコードのみ読み取ります。

# グループ 30

## シンボロジーのフォーマット：EAN 13, ISBN, ISSN, ISMN



**ENABLE**



DISABLE



**LEAD DIGIT SEND**

### EAN-13



LEAD DIGIT NO SEND



**CHECK DIGIT SEND**



CHECK DIGIT NO SEND



+ 5 ON



**+ 5 OFF**



+ 2 ON



**+ 2 OFF**

### ADD ON SUPPLEMENT



ADD A SPACE ON



**ADD A SPACE OFF**



**ADDENDA REQUIRED OFF**



ADDENDA REQUIRED ON



**ISBN OFF**

### ISBN



ISBN ON

#### 注記：

1. "addenda required on" が設定されている場合、スキャナは "+2 / +5" のひとつまたは両方がオンのアデンダを持つバーコードのみ読取ります。
2. ISSN や ISBN は、EAN13 の拡張と見なされます。ISSN と ISBN を読取る必要がある場合は、EAN13 をイネーブルにします。ISSN と ISBN をアデンダを付けて読取る必要がある場合は、EAN13 を ADDENDA REQUIRED をオンにしてイネーブルにする必要があります。



**ISBN OFF**

### ISBN



ISBN ON

#### 注記：

ISSN や ISBN は、EAN13 の拡張コードです。ISSN や ISBN を読取る必要がある場合は、Enable EAN-13 をイネーブルにしないと読取ることができません。



**ISMN OFF**

### ISMN



ISMN ON

# グループ 31

## シンボロジーのフォーマット：EAN/UCC-128, CODE 128, PDF417



**ENABLE**



DISABLE



CODE ID ENABLE



**CODE ID DISABLE**

### EAN/ UCC- 128



FUNC 1 CHEAR SEND



**FUNC 1 CHEAR NOT SEND**



DEFINE EAN 128

### 注記：DEFINE EAN128

最初の FNC1 キャラクタは ]c1 にトランスレートされ、2 番目の FNC1 キャラクタは ASCII<GS> キャラクタにトランスレートされます。(グループ 43-45 からスキャン) (62-64 ページ)

### String format :

]C1	DATA CHARACTERS	<GS>	DATA CHARACTERS
-----	-----------------	------	-----------------

### 設定手順：

1. DEFINE EAN128 をスキャン
2. ASCII Code (61 ページ) をスキャン
3. DEFINE EAN128 をスキャン

### CODE 128



**ENABLE**



DISAB F



MIN LENGTH ( 5 )



MAX LENGTH ( 48 )

### PDF417



Enable



**Disable**

# グループ 31

## シンボロジーのフォーマット：EAN/UCC-128, CODE 128, PDF417

<Set PDF 417 Code Enable/Disable>

\*.G021\$\*

Step3: Scan one digit Idel time barcode as below.



PDF417 Enable



\*0\*

\*.G022\$\*



**PDF417 Disable**



\*1\*

<Set Scanner 'Idel enter Idel Mode' >

Step1: Scan 'Idel On Mode' barcode below.

\*.B026\$\*



Idel Mode On



\*2\*



\*3\*

\*.B027\$\*



Idel Mode Off



\*4\*



\*5\*

Step2: Scan 'Idel Entry Time Mode' Barcode.

\*.B028\$\*



Idel Entry Mode Time  
(1~9Min.)

Idel Mode Off



\*6\*



\*7\*

Step4: Scan 'Idel End Time Mode' barcode.

\*.B028\$\*



Idel End Mode Time



\*8\*



\*9\*

# グループ 32

## DATABAR(RSS), CONTACT/PEN TYPE 限定

---



Databar-14 / LIMITED  
ENABLE



**Databar-14 / LIMITED  
DISABLE**



Databar-14 / LIMITED  
CHECK DIGIT SEND



**Databar-14 / LIMITED  
CHECK DIGIT NOT SEND**



Databar-14 / LIMITED  
PREFIX SEND



**Databar-14 / LIMITED  
PREFIX NOT SEND**



Databar-14 / SET ID



Databar-LIMITED SET ID

# グループ 32

## DATABAR(RSS) 限定、拡張

---

. N032\$  
  
Databar -14 ENABLE

. N034\$  
  
Databar -14 CHECK DIGIT SEND

. N036\$  
  
Databar -14 PREFIX SEND

. N038\$  
  
Databar-14 STACKED ENABLE

. P024\$  
  
Databar -14 SET ID

### Databar (RSS-14)

. N033\$  
  
Databar-14 DISABLE

. N035\$  
  
Databar-14 CHECK DIGIT NOT SEND

. N037\$  
  
Databar-14 PREFIX NOT SEND

. N039\$  
  
Databar-14 STACKED DISABLE

. N010\$  
  
Databar-LIMITED ENABLE

. N012\$  
  
Databar-LIMITED CHECK DIGIT SEND

. N024\$  
  
Databar-LIMITED PREFIX SEND

. P019\$  
  
Databar -LIMITED SET ID

### Databar (RSS LIMITED)

. N011\$  
  
Databar-LIMITED DISABLE

. N013\$  
  
Databar-LIMITED CHECK DIGIT NOT SEND

. N025\$  
  
Databar-LIMITED PREFIX NOT SEND

. N026\$  
  
Databar-EXPANDED ENABLE

. N028\$  
  
Databar-EXPANDED STACKED ENABLE

. N030\$  
  
Databar-EXPANDED MIN LENGTH

. P020\$  
  
Databar-EXPANDED SET ID

### Databar (RSS-EXPANDED)

. N027\$  
  
Databar-EXPANDED DISABLE

. N029\$  
  
Databar-EXPANDED STACKED DISABLE

. N031\$  
  
Databar-EXPANDED MAX LENGTH

# グループ 33

## ワイヤレスデバイスモデル

操作手順：下記のステップをワイヤレススキャナでスキャン

Step1



Step2



Step4



Step5



Step3 :

PCでキーインした  
 下記の数字をスキャン



### Power Manager Mode Idle/Mode



▲ コンタクトタイプ向け機能の特殊な目的

### 注記：

1. チャージ環境の温度は、0℃～40℃にします。
2. 本デバイスのユニットは、1個のホストと1個のクレードルを使用します。
3. デフォルトのアイドルモードは1分です。
4. ホストデバイスとワイヤレスドングルを操作する手順としては、ワイヤレスドングルをまず稼働させ、その後ホストデバイスを起動してください。
5. ホストデバイスがワイヤレスドングルと接続できない場合、ホストデバイスを
6. 1分間（デフォルト）動作させずアイドルモードにし、その後、ホストデバイスを、チャージ後、ワイヤレスドングルと接続してください。

# グループ 33

## ワイヤレスデバイスモデル

### ノンピンコードワイヤレスタイプ

[ スキャナ LED & ビープ音告知 ]

Scanner LED & Beeper Indication						
scanner		Green LED	Red LED	Blue + Red LED	Beeper	Remark
	initial / hand shacking	-	-	blink	long beep 1 time	-
	finished connection	-	-	-	2 beep 1 time	-
	Standby after connection	-	-	-	-	none any indication for saving power
	not connected	-	-	blink	3 beep 1 time	-
	scanning barcodes under not finished connection	-	-	-	error beep tone	-
	successfully both had read barcode and transmitted	flash 1 time	-	-	beep 1 time	-
	error in reading barcodes	-	-	-	-	only red scan light
	low power	-	flash	-	short beep 5 times every 6 sec. till power exhaust electricity	-



# グループ 33

## ワイヤレスデバイスモデル

### ノンピンコードワイヤレスタイプ

[ スキャナ LED & ビープ音告知 ]

		Green LED	Red LED	Blue + Red LED	Beeper	Remark
	power off	-	-	-	-	scan barcode setting of 1 min. / 3 min. / 5 min. / 10 min.
cradle	charging	flash	-	-	-	-
	full charge	on	-	-	-	charge needs 4 hours from 0 to 100%

# グループ 33

## ワイヤレスデバイスモデル

### ピンコードワイヤレスタイプ

[ スキャナ LED & ビープ音告知 ]

scanner		Green LED	Red LED	Orange LED	Beeper	Remark
	initial / hand shacking	-	-	-	short beep 1 time	-
	finished connection	flash	-	-	long beep 1 time	-
	Standby after connection	-	-	-	-	-
	scanning barcodes under not connection	flash 5 times	-	-	error beep tone	-
	successfully both had read barcode and transmitted	flash 1 time	-	-	beep 1 time	-
	error in reading barcodes	-	-	-	-	only red scan light
	low power	flash	-	-	short beep 5 times every 6 sec. till power exhaust electricity	-

# グループ 33

## ワイヤレスデバイスモデル

---

### ピンコードワイヤレスタイプ

[ スキャナ LED & ビープ音告知 ]

		Green LED	Red LED	Orange LED	Beeper	Remark
	power off	-	-	-	-	scan barcode setting of 1 min. / 3 min. / 5 min. / 10 min.
cradle	Not charge	-	on	-	-	-
	charging	flash	on	-	-	-
	finish charge	-	-	on	-	charge needs 4 hours from 0 to 100%

# グループ 34

## フル ASCII 表 (CODE 39)

---

%L  
  
NUL

\$B  
  
STX

\$D  
  
EOT

\$F  
  
ACK

\$H  
  
BS

\$J  
  
LF

\$L  
  
FF

\$N  
  
SO

\$A  
  
SOH

\$C  
  
ETX

\$E  
  
ENQ

\$G  
  
BEL

\$I  
  
HT

\$K  
  
VT

\$M  
  
CR

\$O  
  
SI

# グループ 35

## フル ASCII 表 (CODE 39)

---



# グループ 36

## フル ASCII 表 (CODE 39)

---



# グループ 37

## フル ASCII 表 (CODE 39)

---



# グループ 38

## フル ASCII 表 (CODE 39)

---





# グループ 39

## フル ASCII 表 (CODE 39)

---



# グループ 40

## フル ASCII 表 (CODE 39)

---



# グループ 41

## フル ASCII 表 (CODE 39)

---



# グループ 42

## フル ASCII 数字表 (CODE 39)

---



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

# グループ 43

## ファンクションコード表 (CODE 39)

---



# グループ 44

## ファンクションコード表 (CODE 39)

---



Cursor Right



Cursor Left



Cursor Up



Cursor Down



Page Up



Page Down



Tab



Back Tab



Esc



Enter



BS



Ins



Del

# グループ 45

## ファンクションコード表 (CODE 39)

---

\$T%N



Shift (Left) make \*2

\$T%O



Shift (Left) break

\$T+I



Shift (Right) make

\$T+J



Shift (Right) break

\$T+K



Win (Left) make

\$T+L



Win (Left) break

\$T+M



Win (Right) make

\$T+N



Win (Right) break

\$T%W



Ctrl (Left) make \*3

\$T+A



Ctrl (Left) break

\$T+G



Ctrl (Right) make

\$T+H



Ctrl (Right) break

\$T%L



Alt (Left) make \*1

\$T%M



Alt (Left) break

\$T+E



Alt (Right) make

\$T+F



Alt (Right) break

\$T+O



App

\$T+D



Enter (Numeric Key)

---

For UK Keyboard Special Character

\$T+B



⌋

\$T+C



£

### 注記：

- \* 1. "Alt(left)Make" がプログラム済み。バーコード設定をレジュームするには、"Alt(left)Break" をスキャン
- \* 2. "Shift(left)Make" がプログラム済み。バーコード設定をレジュームするには、"Shift (left)Break" をスキャン
- \* 3. "Ctrl(left)Make" がプログラム済み。バーコード設定をレジュームするには、"Ctrl (left)Break" をスキャン

# グループ 46

## トラブルシューティング

---

EZscan のインストールと使用は簡単です。操作上の問題は主に、下記の原因が考えられます。

- インターフェース接続の誤り
- 初期設定の誤り
- 低品質なバーコード

### 一般的解決手順

1. 最初に、スキャナとホストコンピュータの接続を確認します。正しい場合、長いビープ音をが 1 回鳴ります。トリガを押し下げると、LED が点滅します。
2. 電源をオン後、本書のサンプルバーコードをスキャンします。デフォルト設定では、ビープ音が鳴り、LED が点滅して正常読取を知らせます。読取が正常にできない場合、スキャンのやり方か、インターフェース設定に問題がある可能性があります。スキャナをデフォルトにリセットしてください。
3. 正常読取が告知されたにもかかわらずモニタにデータ出力が無い場合、ケーブルの接続を確認してください。

### キーボードウェッジインターフェースの問題

キーボードウェッジインターフェースは、通常トラブルはありませんが、万一問題が生じた際は、下記を確認してください。

#### 正しいケーブルを使用しているか？

コンピュータは通常、XT/AT 互換キーボードを使用しています。正しいケーブルを使用しているか確認してください。

#### キーボードは動作しているか？

キーボードからキーインされたデータがデコーダに渡されているため、キーボードが機能していれば、ケーブル接続は正しいです。

#### お使いのコンピュータは、高速なデータ受信が可能か？

コンピュータの BIOS に、キーボードのタイピング速度に影響する機能があります。インタキャラクタディレイ機能を、キーストローク入力速度を速めるよう設定してみてください。

#### キーボードポートは十分な電力を供給しているか？

ノートブックコンピュータは通常、スキャナに十分な電力を供給しません。電力供給が不十分の場合、正常読取の確率が下がります。(適切なスキャン操作を可能にする電力が十分でないためです)



# グループ 47

## トラブルシューティング

---

### RS232C インターフェースの問題

バーコードを読取ったのにモニタに出力されない場合、以下が原因の可能性があります。

1. スキャナの、ボーレートやデータビット、パリティ、ハンドシェーキングなどの RS232C のプロトコルを、PC ターミナルの設定にあわせましたか？ 解決法：スキャナの上記 RS232C プロトコルを、PC のプロトコルにあわせてリセットする
2. バーコードのケーブルピンアウトアサインメントが、PC ターミナルのピンアウトアサインメントに合致していますか？

**スキャナに電力が供給されていない：**

1. スキャナに適切な電源アダプタを接続していますか？
2. スキャナは、PC ターミナルに合致した適切なピンアウトのケーブルで接続していますか？

### インターフェースの問題

**Code 39 出力のワンドエミュレーションモードを使用していますか？ その場合、デコーダは、Code 39 のデータを受け付けるよう設定されていますか？**

スキャナの設定が、読取るバーコードシンボロジーを受け付けることができるかどうか確認してください。

**ケーブルが正しく接続されているように見えるのに、スキャナがデータをホストコンピュータに送信しませんか？**

スキャナのインターフェースケーブルには、業界標準はありません。そのため、外観が似ていて同じようなコネクタがあっても、異なる種類の可能性があります。例えば、キーボードウェッジとワンドエミュレーションのケーブルは似ていますが、ピンアサインメントが異なるため、互換性はありません。ご使用のケーブルが、適切なコネクタに正しく接続されていることを確認してください。

### 設定のセットアップ

**正しいインターフェースの設定を行っていますか？**

正しいインターフェースの設定を行っていますか？ キーボードウェッジケーブルを選択して、RS232C やワンドエミュレーションを設定していませんか？ キーボードケーブルを RS232C に変えたのに、スキャナのインターフェースも RS232C に設定するのを忘れていませんか？ スキャナをデフォルト設定にしてから、ご使用のケーブルと入力にあわせた適切なインターフェースを選択してください。

**症状** - ED ライトが固定し、トリガを押しても機能しない。

**解決** - スキャナをデフォルトの状態に戻し、正しいインターフェースを選ぶ。

# グループ 48

## トラブルシューティング

---

### 適切なシンボロジーがイネーブルになっていますか？

バーコードシンボロジーは、個別にイネーブルやディセーブルにできます。スキャンするシンボロジーだけをイネーブルにすることをお勧めします。誤って他のシンボロジーを讀取ってしまう可能性がなくなります。

### 選択したバーコードシンボロジーの設定は、讀取るバーコードに合致していますか？

各バーコードシンボロジーのスキャンされたデータは、使用しないシンボロジーをスキャンしないよう制限することができます。制限は、シンボロジーごとに設定できます。

## 低品質のバーコード

3 番目の問題は、スキャナの問題ではなく、バーコードの印刷品質や、スキャン操作の技術の問題です。

### バーコードの許容差

バーコードは、許容差がある場合があります。通常、許容差は、バーコードフォントのソフトウェアやプリンタによって生じます。良い評価のされているソフトウェアを使用して、バーコードを生成してください。印刷されたバーコードにゆがみがあると、スキャナが認識できない場合があります。

低品質のバーコードで正常な讀取を行うのは、何回も讀取らない限り大変困難です。シンボロジーの品質が落ちると、検出不能エラーが増加します。Check Digit Verification(CDV) を使用して、問題のバーコードの品質をチェックしてください。

### ラベル (紙、カラー、プリンタ)

バーコードの光源は、通常赤色なので、ラベルの印刷には制限があります。印刷に使用する素材などを選ぶにあたり、カラーのインクや紙などを使用する時は注意してください。ラベルのカラーとインクのカラーの組合せによっては、スキャナが認識できない場合があります。表面が光沢のある材質も、スキャナが讀取りにくい場合があります。

さらに、印刷の品質が悪いと、スキャナが讀取れない恐れがあります。使用するプリンタのタイプによって、品質が低下します。ドットマトリクスプリンタやインクジェットプリンタは、高品質のバーコードを生成できません。同時に、インク、リボン、トナーがきちんと補給されているかも確認してください。

# APPEINDEX 1

## デフォルト表 1

CROUP	PARAMETER	DEFAULT	
1	Computer Type	PC-AT	
	Interfaces		
	Scan speed		
2	Reading Mode	Trigger	
3	Beep Tone Mode 2.1k	Beep Medium	
	Beep Tone Mode 2.7k	Beep Medium	
	Capital lock Mode	Caplock Off	
4	Setup code read	Setup up code on	
	Preamble & Postamble	OFF	
5	Accuracy Adjustment	2	
6~9	Enable & Disable Code ID	OFF	
10	Interblock Delay	0ms	
	Inter-character Delay	140us	
11	Keyboard Layout	English(USA)	
	Terminator	CR, CR+LF	
	numeric key		
12	Baud Rate	9600	
	Data Bits & Parity	8 Bit None	
13	Stop Bits	1 stop bit	
	Handshaking	None	
	ACK/NAK	OFF	
	Flow Control TimeOut	1 Sec	
14	Level dutation of Mini Width	200us	
	Polarity Of Idle Condition	High	
	Output of Wand Emulation	Bar High/Space Low	
	Wave Form	Full ASCII 39	
15~16	Enable and Disable Symbologies		
	Code 32	Disable	
	China Postal Code	Enable	
	UK Plessy Code	Disable	
	Industrial 2 of 5	Disable	
	Matrix 2 of 5	Disable	
	Interleaved 2 of 5	Enable	
	Code 128	Enable	
	Cadabar	Enable	
	Telepen	Disable	
	UPC-A	Enable	
	UPC-E	Enable	
	EAN-8	Enable	
	EAN-13	Enable	
	MSI	Disable	
	Code 39	Enable	
	Code 11	Enable	
Code 93	Disable		
EAN-128	Enable		
IATA	Disable		
17	1	China Post Code	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	11 digits
		Max Length	48 digits
18	1	MSI	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	CDV & send CD
		Check Digits Mode	Single MOD 10

\* スキャナのインターフェース設定には特定のデフォルト値はなく、カスタマーの注文により設定されます。

# APPEINDIX 1

## デフォルト表 2

CROUP	PARAMETER	DEFAULT
18	<b>UK Plessy</b>	
	Enable/Disable	Disable
	Check Digits	CDV & not send CD
19	<b>IATA</b>	
	Enable/Disable	Disable
	Check Digits	Disable CDV
	Min Length	6 digits
	Max Length	48 digits
	<b>Code 93</b>	
	Enable/Disable	Disable
	Min Length	6 digits
	Max Length	48 digits
	<b>Telepen</b>	
	Enable/Disable	Disable
	Telepen ASCII /Number	Number
20	<b>Interlaved 2 of 5</b>	
	Enable/Disable	Enable
	Check Digits	Disable CDV
	First/ last digit suppressed	No suppressed
	Min Length	6 digits
	Max Length	48 digits
	<b>Code II</b>	
	Enable/Disable	Disable
	Check Digits	Disable CDV
	Min Length	6 digits
	Max Length	48 digits
	21	<b>Industrial 2 of 5</b>
Enable/Disable		Disable
Check Digits		Disable CDV
Min Length		6 digits
Max Length		48 digits
<b>Matrix 2 of 5</b>		
Enable/Disable		Disable
Check Digits		Disable CDV
Min Length		6 digits
Max Length		48 digits
22	<b>Codabar</b>	
	Enable/Disable	Enable
	Check Digits	Disable CDV
	Min Length	6 digits
	Max Length	48 digits
	ST/SP;Abcd/abcd,abcd/tn*c, ABCD/ABCD,ABCD/TN*C	ABCD/ABCD
	Start(ST)/Stop(SP)send	Send
	CLSI Format	ON
23	<b>ABC-Codabar</b>	
	ON/OFF	OFF
	Insert Data	OFF
	<b>CX-Codabar</b>	
	Insert Data	OFF
	ON/OFF	OFF
24	<b>Codabar-Coupling</b>	
	ON/OFF	OFF
	Insert Data	ON
	Adjacent Required	OFF
25	<b>Code 39</b>	
	Full ASCII 39 Enable/Disable	Enable
	Check Digits	Disable CDV
	Start/Stop	Not Send
	Min Length	1 digits
	Max Length	48 digits
	<b>Cobe 32</b>	
	Enable/Disable	Disable
	Leading send/not send	send
Tailing send / Tailing not send	Tailing send	

# APPEINDIX 1

## デフォルト表 3

CROUP	PARAMETER	DEFAULT	
26	<b>UPC-E systems number</b>		
	UPC E(0) On/Off	ON	
	UPC E(1) On/Off	OFF	
	UPC-E expand to UPGA	Disable	
27	<b>UPC-E</b>		
	Enable/Disable	Enable	
	Check Digits	Send	
	Lead Digits	Send	
	Add a space	OFF	
	Addenda required	ON	
	+5 On/Off	OFF	
+2 On/Off	OFF		
28	<b>UPC-A</b>		
	Enable/Disable	Enable	
	Check Digits	Send	
	Lead Digits	Send	
	Add a space	OFF	
	Addenda required	ON	
	+5 On/Off	OFF	
+2 On/Off	OFF		
29	<b>EAN-8</b>		
	Enable/Disable	Enable	
	Check Digits	Send	
	Lead Digits	Send	
	Add a space	OFF	
	Addenda required	ON	
	+5 On/Off	OFF	
+2 On/Off	OFF		
30	<b>EAN-13</b>		
	Enable/Disable	Enable	
	Check Digits	Send	
	Lead Digits	Send	
	Add a space	OFF	
	Addenda required	ON	
	+5 On/Off	OFF	
	+2 On/Off	OFF	
	ISSN On/Off	OFF	
ISBN	OFF		
31	1	<b>EAN/UCC128</b>	
		Enable/Disable	Enable
		Code ID	Disable
		Func I Chear send	Not Send
	2	<b>Code 128</b>	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	5 digits
		Max Length	48 digits
	3	PDF417	Disable
32	<b>Rss-14</b>		
	Rss-14	Disable	
	Rss-14 Check digit	Not Send	
	Rss-14 Prefix	Not Send	
	Rss-14 Stacked	Enable	
	Rss-Limited	Disable	
	Rss-Limited Check Digit	Not Send	
Rss-Limited Prefix	Not Send		
Rss-Expanded	Disable		

# APPEINDIX 2

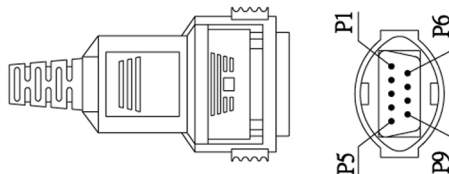
## ケーブルピンアサインメント

### インターフェース：

#### 1. TTL, ワンドエミュレーション

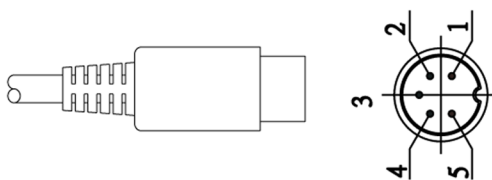
1.1 ) AMP (D-Sub 9Pin ):

Pin	Signal
2	Data
7	GND
9	+5VCC



1.2 ) Din 5 male ( 240 degree):

Pin	Signal
1	+ 5Vcc
2	Data
3	GND
4	N/A
5	N/A

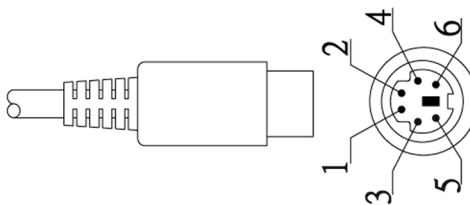


#### 2. キーボードインターフェース

Type of connector:

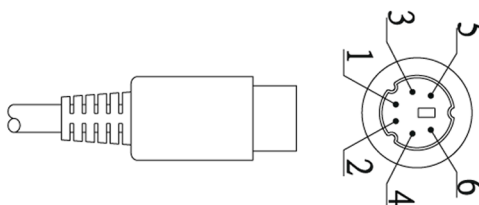
2.1 ) PS/2 Mini Din6 Female:

Pin	Signal
1	PC Data
2	NC
3	GND
4	+5Vcc
5	PC-Clk
6	NC



2.2 ) PS/2 Mini Din6 Male:

Pin	Signal
1	KB- Data
2	NC
3	GND
4	+5Vcc
5	KB-CLK
6	NC



# APPEINDIX 2

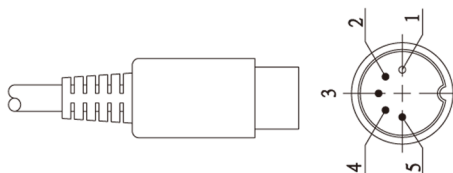
## ケーブルピンアサインメント

### インターフェース:

コネクタのタイプ

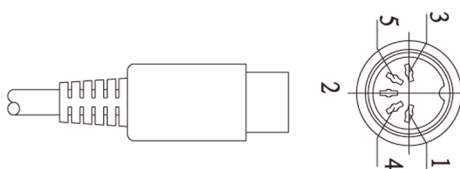
2.3) PC-AT : Din 5 Male :

Pin	Signal
1	KB-Clk
2	KB-Data
3	NC
4	GND
5	+5VCC



2.4) PC-AT : Din 5 Female

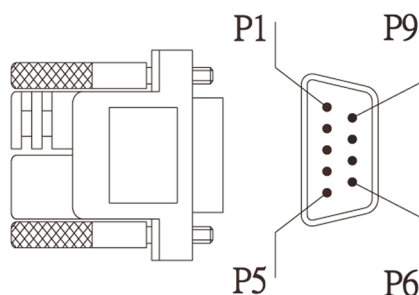
Pin	Signal
1	PC-Clk
2	PC-Data
3	NC
4	GND
5	+5VCC



### 3.RS232 Interfaces:

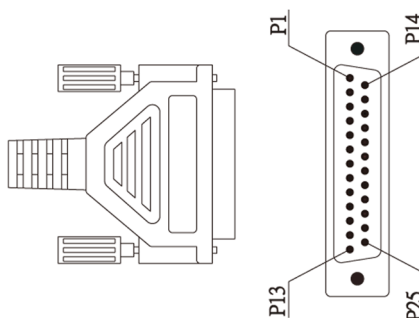
3.1) DB9F

Pin	Signal
2	TXD(Out)
3	RXD(In)
5	GND
7	CTS(In)
8	RTS(Out)
9	+5Vcc



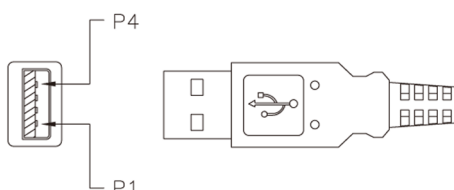
3.2) DB25F

Pin	Signal
2	RXD( In)
3	TXD( out)
4	CTS( In)
5	RTS( Out)
7	GND
16	+5VCC
25	+5VCC



### 4.USB.Interface:

Pin	Signal
1	+5VCC
2	Data -
3	Data +
4	GND



# APPEINDIX 3

## バーコードテストチャート

DENSITY	NARROW mm(mil)	WIDE mm(mil)	CHAR.GAP mm(mil)	N/W RATIO
MEDIUM DENSITY	0.25(10)	0.625(25)	0.25(10)	1/2.5

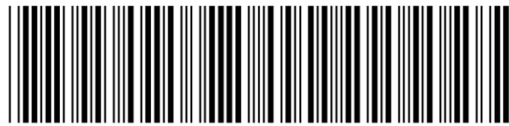
### MEDIUM DENSITY

NW-7  
(CODABAR)



B-\$/+.+00123B

CODE-39



CODE-39 TES

Interleaved  
2of5



9876543210

UPC



0 6  
31323 12078

EAN



4 712567 014012



**APPEINDIX 3**  
バーコードテストチャート

**LOW DENSITY**



C9876543210D



CODE-39 TEST



0012345690



4 7 1 6 4 1 5 9 4 2 0 5 2



0 7 1 5 8 9 8 1 2 3 0 8

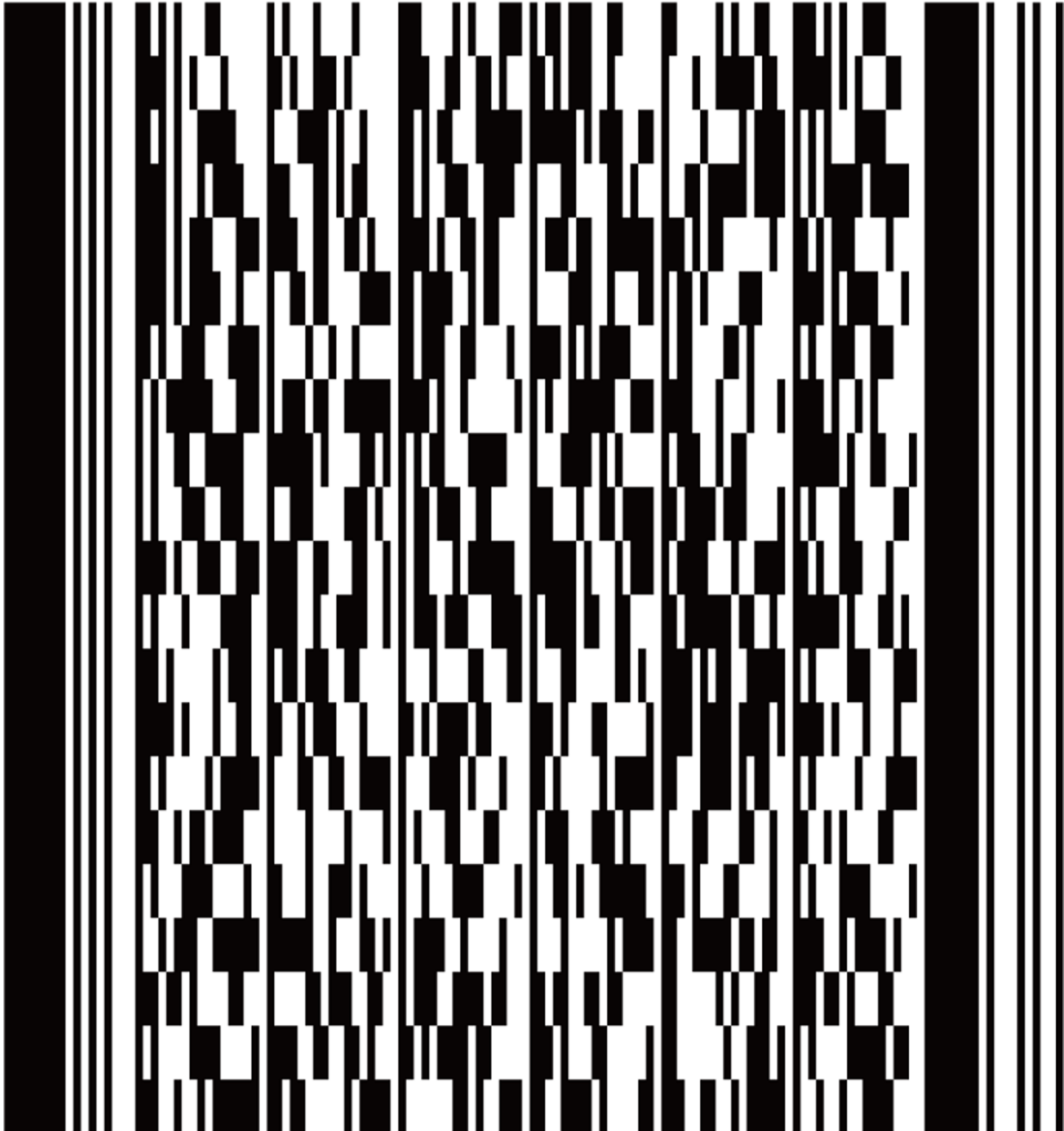
# APPENDIX 4

## PDF417 デモチャート

---

LVx: データベースのデータソースは、必要なときに生成される変数です。この変数は、クエリーまたは ASCII 表のデータが供給されます。

LV1:

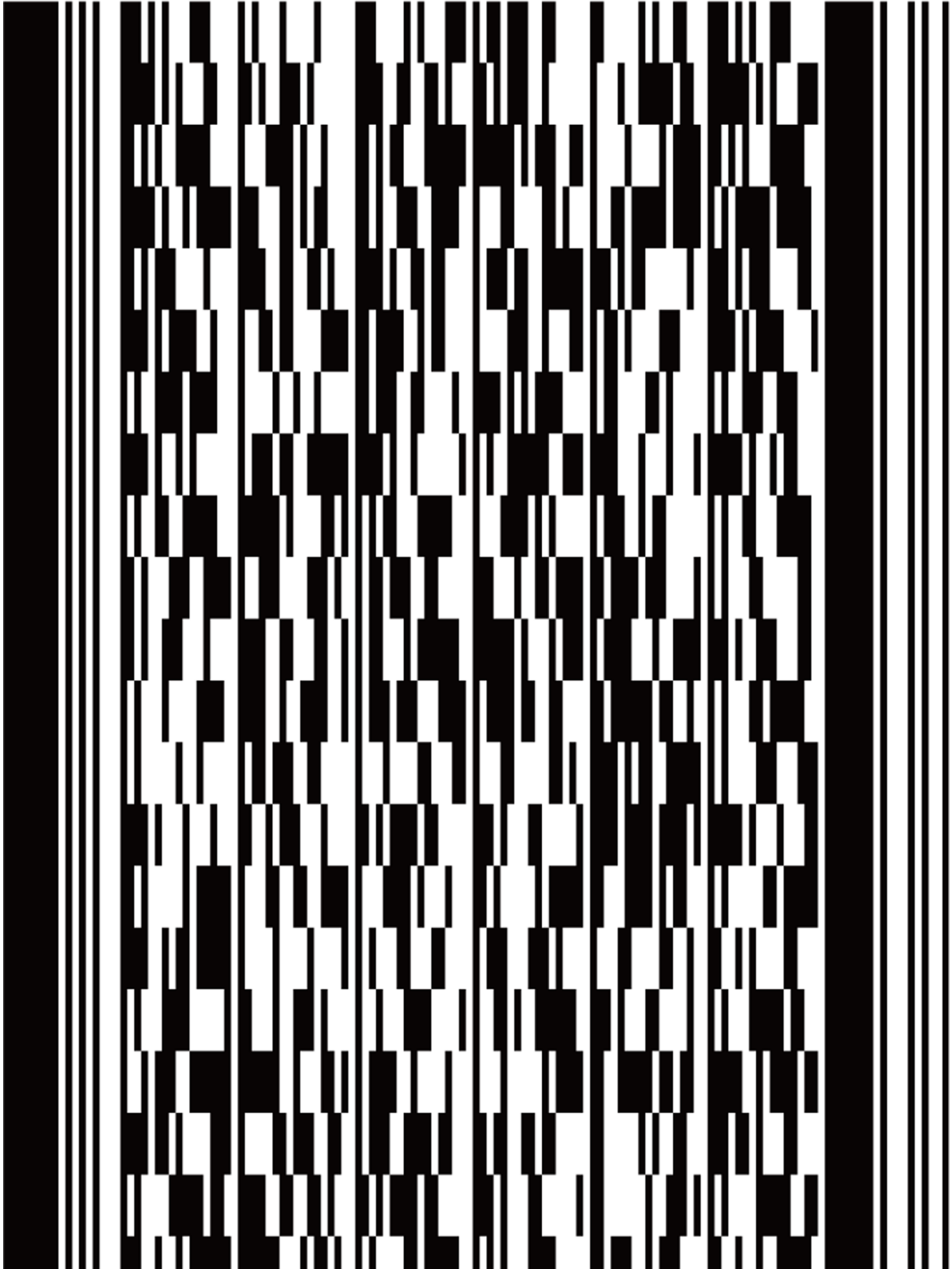


# APPENDIX 4

## PDF417 デモチャート

---

LV2:

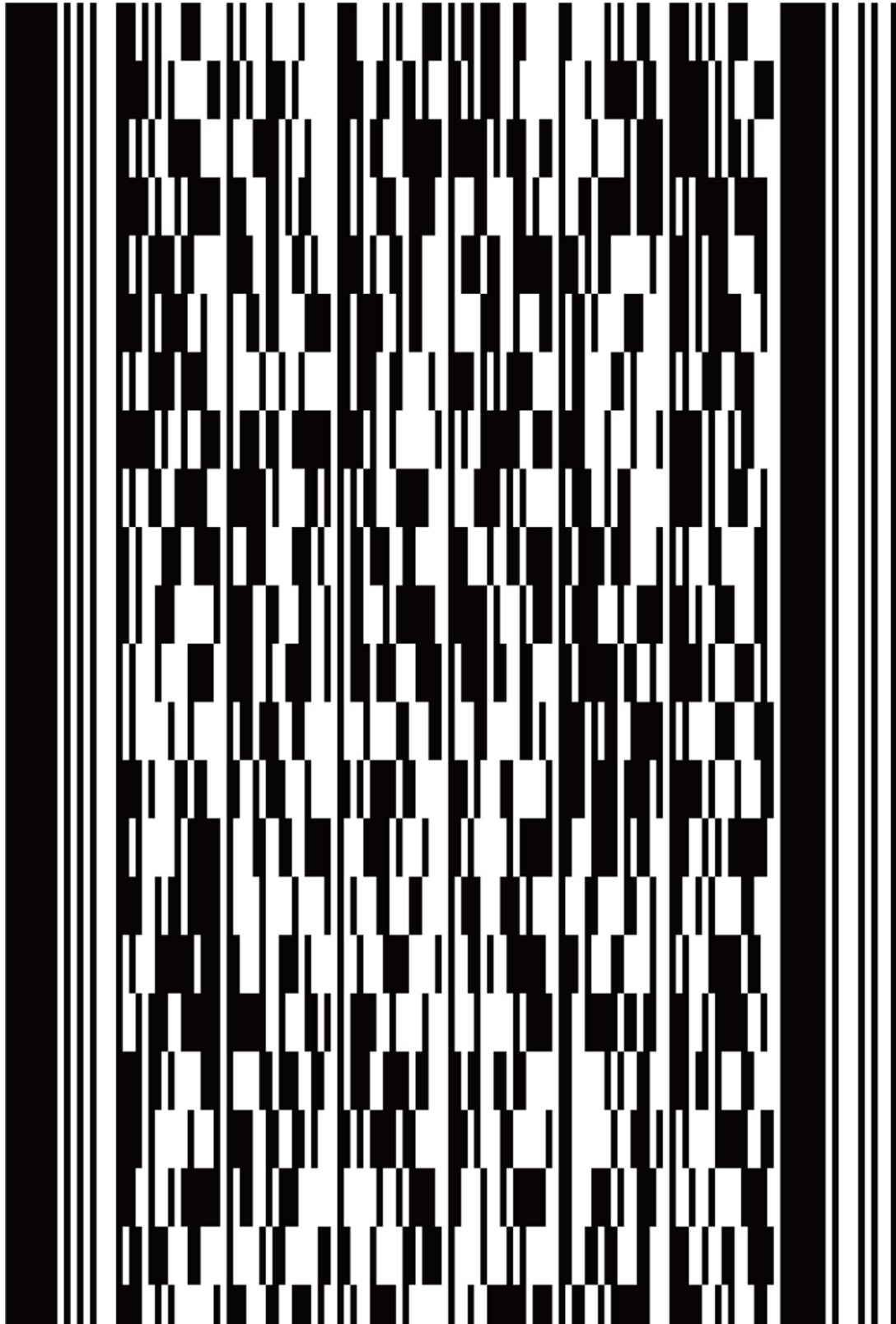


# APPENDIX 4

## PDF417 デモチャート

---

LV3:

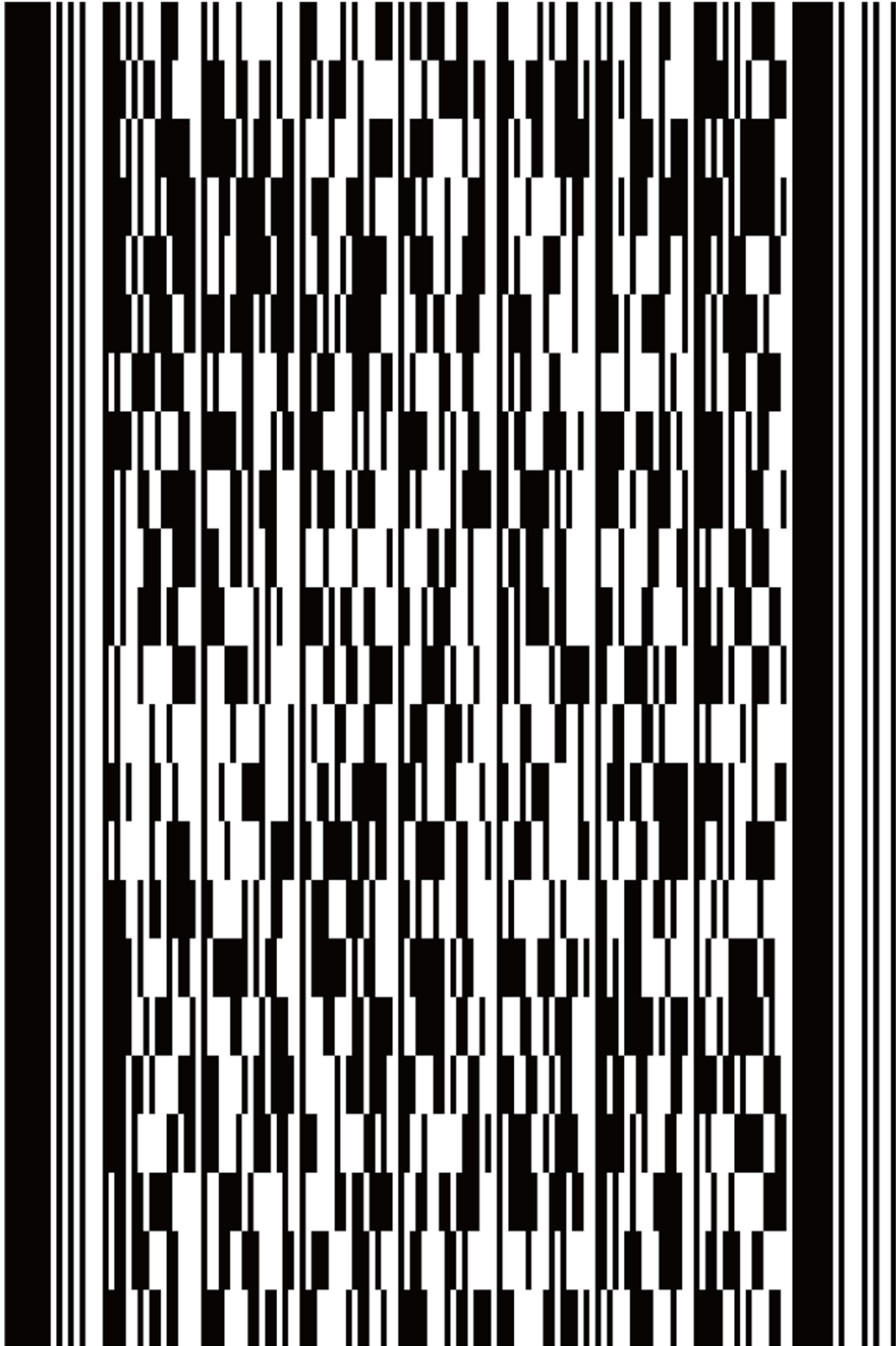


# APPENDIX 4

## PDF417 デモチャート

---

LV4:

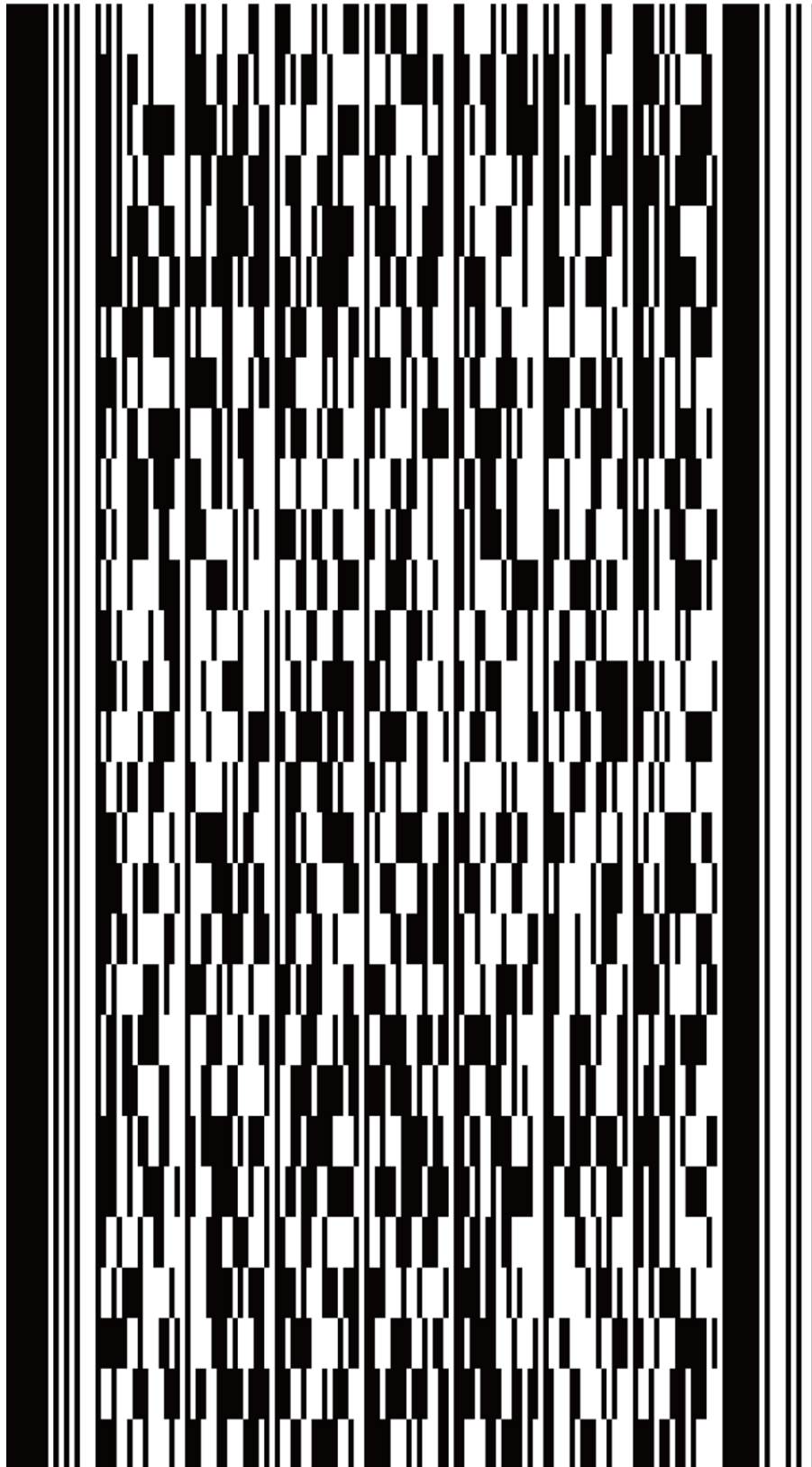


# APPENDIX 4

## PDF417 デモチャート

---

LV5:

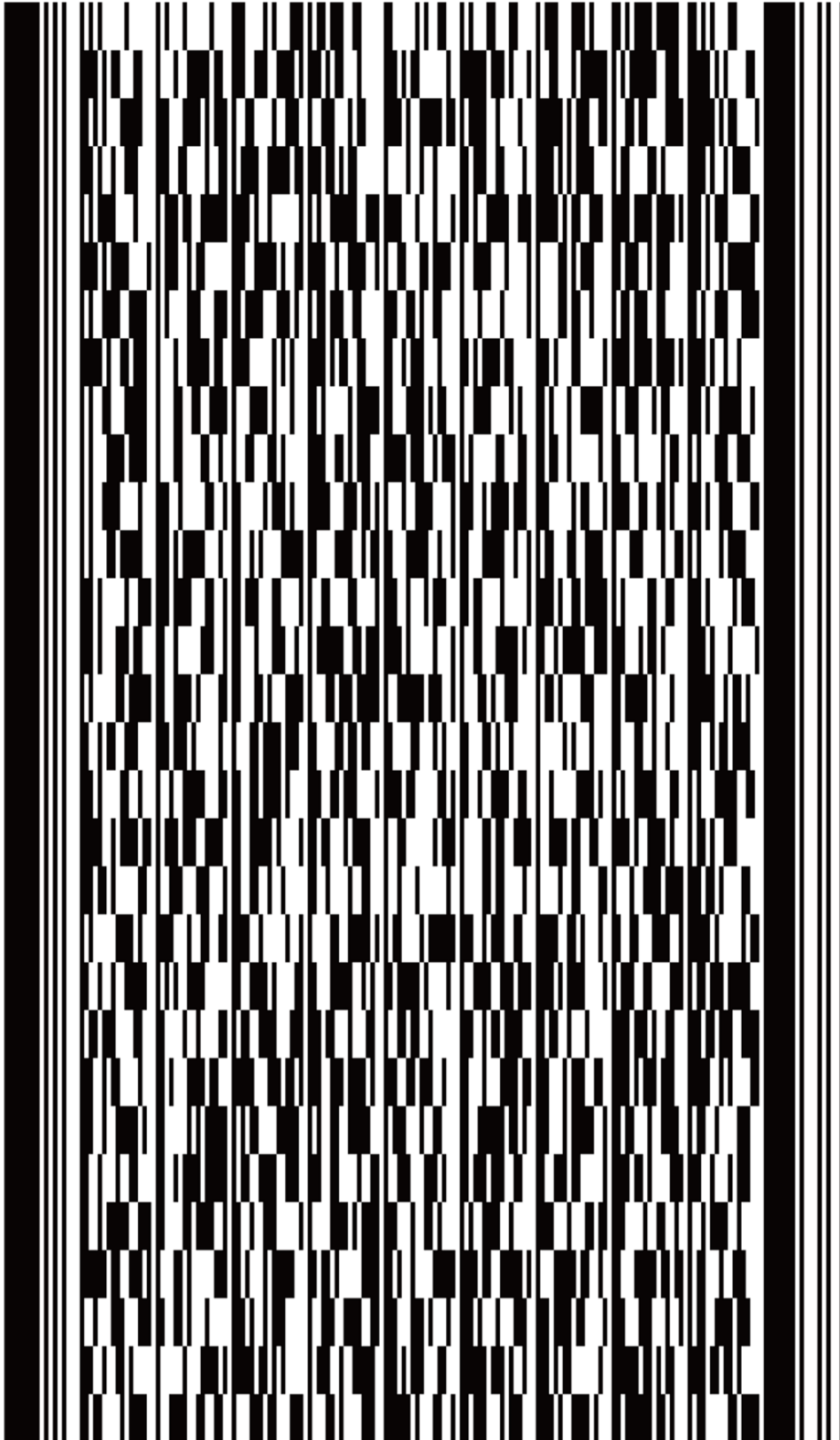


# APPENDIX 4

## PDF417 デモチャート

---

LV6:

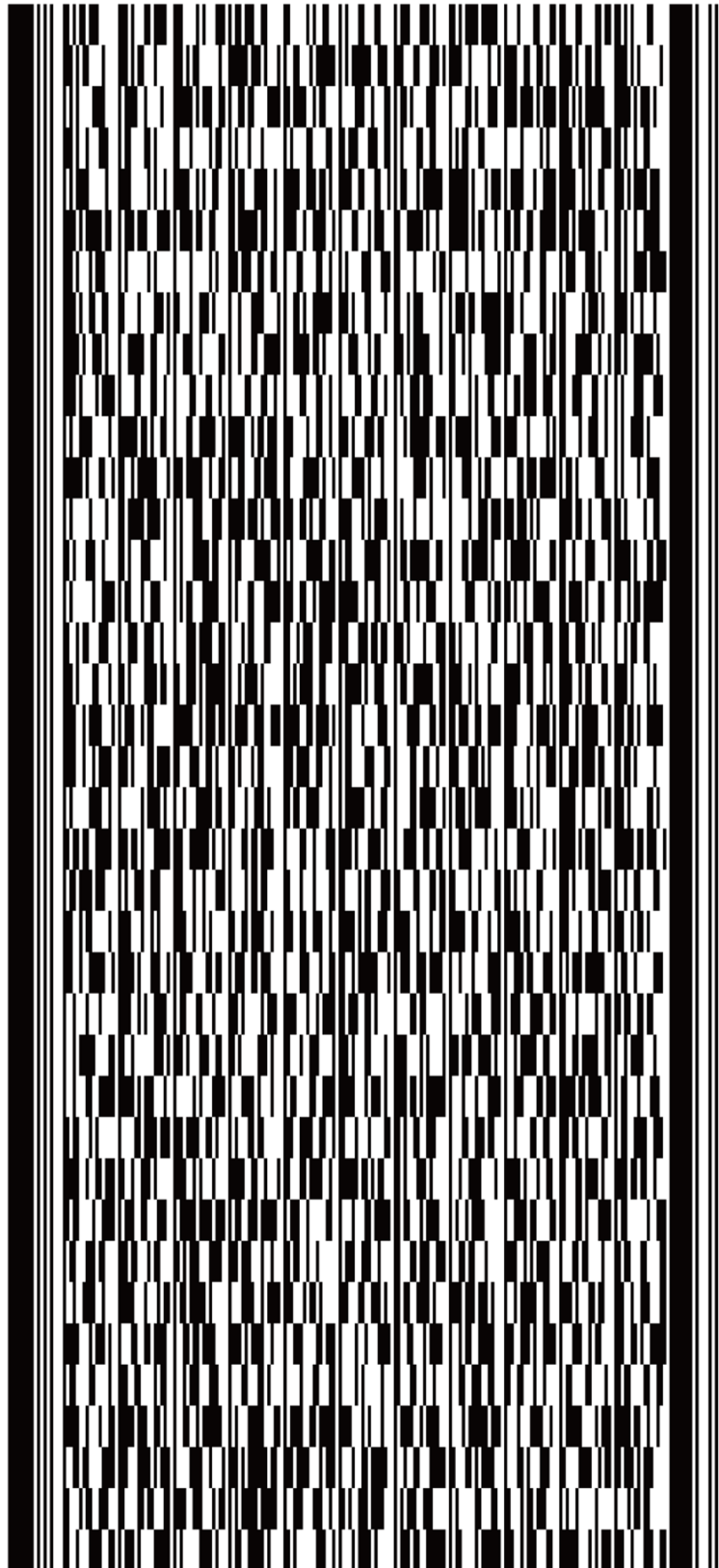


# APPENDIX 4

## PDF417 デモチャート

---

LV7:



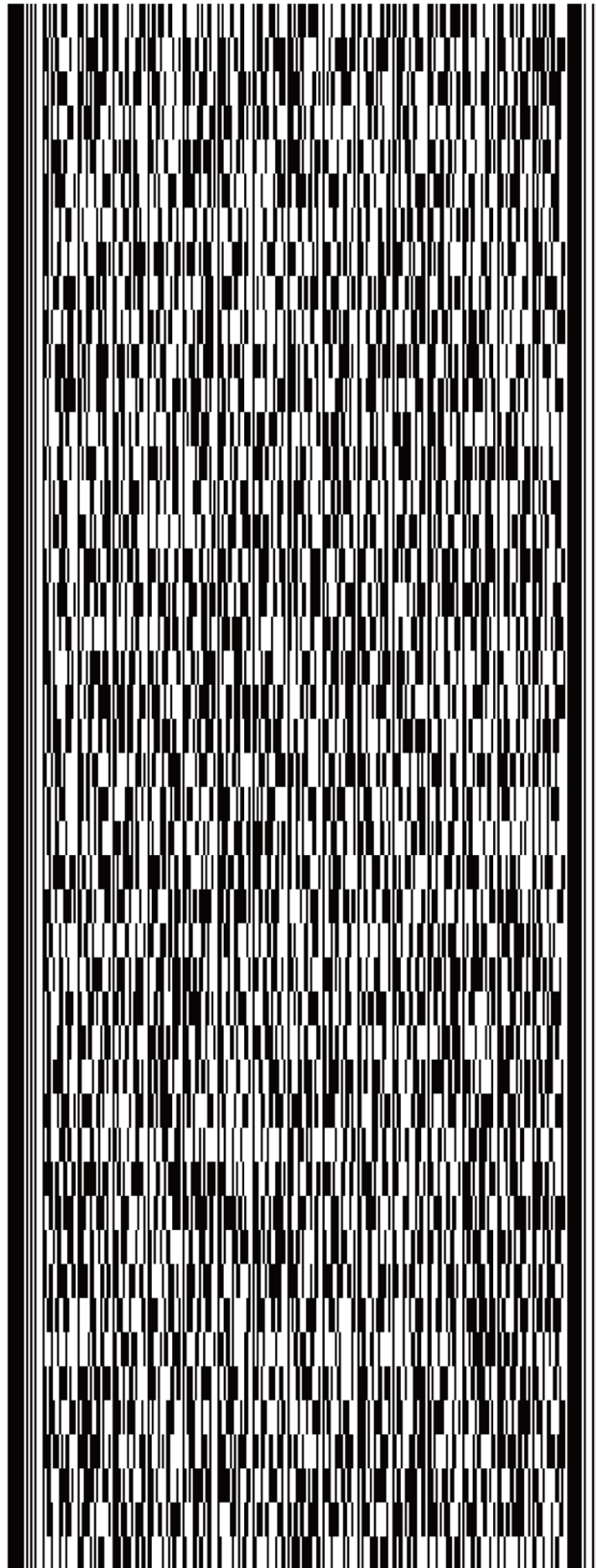


# APPENDIX 4

## PDF417 デモチャート

---

LV8:



## APPENDIX 5

### 赤外線センサー付きレーザーキャナの Auto Sensing Mod

---

.F010\$



Auto Sensing Mode(IR)  
レーザーキャナにイネーブル

#### デフォルト：

1. スキャナは、MT709-1 スタンドに設置する必要があります。
2. 対象物がウィンドウの前に置かれると、自動的にスキャンが行われます。

#### Delay time mode、シンボロジーのデコードが行われないうち

.F030\$



デフォルト 3 秒  
設定範囲 01 ~ 30 秒

スキャンがライトを発し、バーコードが 3 秒間（デフォルト）デコードを行わないとき、スキャナのライトは自動的にオフになります。

例：Delay time mode を、10 秒間デコードが行われないうちという設定にする

Scan ".F030\$" → Scan "1" →  
Scan "0" → Scan ".F030\$"

.F030\$



1



0



.F030\$



## APPENDIX 5

### 赤外線センサー付きレーザーキャナの Auto Sensing Mod

---

#### 同じバーコード上で留まる Delay time mode

.F031\$



デフォルト 30 秒  
設定範囲 03 ~ 60 秒

バーコードがデコードされた後、スキャナのライトは続けて 30 秒（デフォルト）留まり、その後自動的にライトがオフになります。

例：同じバーコード上で留まる Delay time mode を 10 秒に設定する

Scan ".F031\$" → Scan "1" →  
Scan "0" → Scan ".F031\$"

.F031\$



1



0



.F031\$



# APPENDIX 5

## 赤外線センサー付きレーザーสキャナの Auto Sensing Mode

### スタンド設定の磁気センサー使用

.F034\$



磁気イネーブルの MT709-1 スタンド

\* スキャナの Auto sensing mode をイネーブルにするには、MT709-1 スタンドに設置する必要があります。スキャナを MT709-1 から取り外すと、Trigger mode に変わります。

.F035\$



磁気ディセーブルなしの MT709-1 スタンド

スキャナを、MT709-1 スタンドに置いても取り外しても、スキャナは Auto Sensing Mode です。

### タイム設定コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

## APPENDIX 6

### 赤外線センサー付き CCD スキャナの Auto Sensing Mode

.F007\$



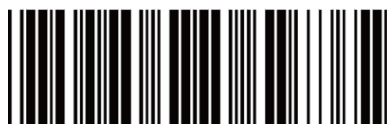
Auto Sensing Mode(IR)  
CCD スキャナにイネーブル

デフォルト：

1. スキャナは、MT709-1 スタンドに設置する必要があります。
2. Auto Sensing Mode がオンの場合、緑色 LED と磁気スイッチが自動的にオンになります。(緑色 LED オン+磁気スイッチオン)
3. 同種のシンボロジーがウィンドウの前に置かれると、自動的にスキャンされます。

#### Delay time mode、シンボロジーのデコードが行われないうち

.F030\$



デフォルト 3 秒  
設定範囲 01 ~ 30 秒

バーコードがデコードされた後、スキャナのライトは続けて 3 秒 (デフォルト) 留まり、その後自動的にライトがオフになります。

例：Delay time mode を、10 秒間デコードが行われないうちという設定にする

Scan ".F030\$" → Scan "1" →  
Scan "0" → Scan ".F030\$"

.F030\$



1



0



.F030\$



## APPENDIX 6

### 赤外線センサー付き CCD スキャナの Auto Sensing Mode

---

#### スタンド設定の磁気センサー使用

.F034\$



磁気付きの MT709-1 スタンド

\* スキャナのオートセンシングモードをイネーブルにするには、MT709-1 スタンドに設置する必要があります。スキャナを MT709-1 から取り外すと、Trigger mode に変わります。

.F035\$



磁気ディセーブルなしの MT709-1 スタンド

\* スキャナを、MT709-1 スタンドに置いて取り外しても、スキャナは Auto sensing mode です。

# APPENDIX 6

## 赤外線センサー付き CCD スキャナの Auto Sensing Mode

---

### 緑色 LED イルミネーションライト点灯

.F032\$



緑色LEDオン

.F033\$



緑色LEDオフ

緑色 LED ライトは、Auto Sensing mode のセンシティブリティを強化します。緑色 LED がオンの場合、Auto Sensing mode のセンシティブリティはよりセンシティブになります。

### タイム設定コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9